

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄						備考			
計画の区分	研究科の専攻の設置									
フリガナ設置者	コリツダガククホジノカノヤイクダガク 国立大学法人鹿屋体育大学									
フリガナ大学の名称	カノヤイクダガクガク 鹿屋体育大学大学院（National Institute of Fitness and Sports in KANOYA Graduate School）									
大学本部の位置	鹿児島県鹿屋市白水町1番地									
大学の目的	<p>本学大学院は、スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する学術の理論及び応用と実践が一体となった教育研究を展開し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、スポーツ・武道文化の進展及び国民の健康の増進に寄与する。</p>									
新設学部等の目的	<p><スポーツ国際開発学共同専攻>（修士課程/共同教育課程） スポーツ・体育・健康に関する理論的・実践的な知識を英語によって学び、国際平和と友好、豊かな地域社会の創造に寄与し、指導的役割を担うことのできる高度専門職業人・研究者を養成する。</p>									
新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部】 体育学部
			年	人	年次人	人		令和2年4月第1年次		
	体育学研究科 [Graduate School of Physical Education]	スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程） [Joint Master's Program in International Development and Peace through Sport]	2	3	-	6	修士（スポーツ国際開発学） [Master of Arts in International Development and Peace through Sport]	令和2年4月第1年次	鹿児島県鹿屋市白水町1番地	
	計		-	3	-	6				
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	体育学研究科 スポーツ国際開発学共同専攻（M）（廃止）（△3） 大学体育スポーツ高度化共同専攻（D）（廃止）（△2） ※令和2年4月学生募集停止									
教育課程	新設学部等の名称		開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
			講義	演習	実験・実習	計				
		スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程）	29科目	7科目	2科目	38科目	30単位			

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等								
			教授	准教授	講師	助教	計	助手								
新設分	スポーツ国際開発学共同専攻		2 (2)	3 (3)	(-) (-)	(-) (-)	(5) (5)	(-) (-)	(2) (2)							
	計		2 (2)	3 (3)	(-) (-)	(-) (-)	(5) (5)	(-) (-)	(2) (2)							
	(令和2年4月学生募集停止)		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)							
			(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)							
	計		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)							
合計		2 (2)	3 (3)	(-) (-)	(-) (-)	(5) (5)	(-) (-)	(2) (2)								
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計									
	事務職員		60 (60)		27 (27)		87 (87)									
	技術職員		7 (7)		0 (0)		7 (7)									
	図書館専門職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)									
	その他の職員		1 (1)		18 (0)		19 (19)									
計		68 (68)		45 (45)		113 (113)										
校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用		計										
	校舎敷地	134,622 m ²	0 m ²	0 m ²		134,622 m ²										
	運動場用地	168,701 m ²	0 m ²	0 m ²		168,701 m ²										
	小計	303,323 m ²	0 m ²	0 m ²		303,323 m ²										
	その他	75,785 m ²	0 m ²	0 m ²		75,785 m ²										
合計	379,108 m ²	0 m ²	0 m ²		379,108 m ²											
校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用		計											
	14,549 m ² (14,549 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)		14,549 m ² (14,549 m ²)											
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設											
	14室	9室	30室	2室 (補助職員 1人)	2室 (補助職員 0人)											
専任教員研究室	新設学部等の名称			室数												
	スポーツ国際開発学共同専攻			5室												
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	専攻単位での特定不能なため、申請大学全体の数								
	申請大学全体	116,221 [24,512]	2,508 [586]	4,437 [4,437]	867	31	0									
		(116,221 [24,512])	(2,508 [586])	(4,437 [4,437])	(867)	(31)	(0)									
	計	(116,221 [24,512])	(2,508 [586])	(4,437 [4,437])	(867)	(31)	(0)									
図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数												
	1,288 m ²	106		108,667												
体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要														
	14,072 m ²	陸上競技場(3種)	1面	サッカー場	1面	テニスコート	16面	ラグビー場	1面	ハンドボール場	1面	ホッケー場	1面	ゴルフ練習場	11打席	多目的グラウンド

経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費による	
		教員1人当り研究費等	—	—	—	—	—	—		
		共同研究費等	—	—	—	—	—	—		
		図書購入費	—	—	—	—	—	—		
	設備購入費	—	—	—	—	—	—	—		
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		該当なし								
既設大学等の状況	大学の名称		鹿屋体育大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	<大学院>	年	人	年次	人		倍			
	体育学研究科									
	体育学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (体育学)	0.87	昭和63年度	鹿児島県鹿屋市白水町1番地	
	体育学専攻 (博士後期課程)	3	6	—	18	博士 (体育学)	1.04	平成16年度	鹿児島県鹿屋市白水町1番地	
	スポーツ国際開発学共同専攻 (修士課程)	2	3	—	6	修士 (スポーツ国際開発学)	0.67	平成28年度	鹿児島県鹿屋市白水町1番地	
	大学体育スポーツ高度化共同専攻 (後期3年のみの博士課程)	3	2	—	6	博士 (体育スポーツ学)	1.00	平成28年度	鹿児島県鹿屋市白水町1番地	
	<学士課程>									
	体育学部									
スポーツ総合課程	4	120	—	480	学士 (体育学)	1.06	平成18年	鹿児島県鹿屋市白水町1番地		
武道課程	4	50	—	200	学士 (体育学)	1.04	昭和59年	鹿児島県鹿屋市白水町1番地		
3年次編入学	2	—	20	40	学士 (体育学)	—	平成20年	鹿児島県鹿屋市白水町1番地		
		<研究施設及び研究支援施設等> 名称：国際交流センター 目的：留学生への支援、外国語に関する専門的教育及び研究を推進し、国際交流の進展に寄与することを目的とする。 所在地：鹿児島県鹿屋市白水町1番地 設置年月：昭和60年7月 規模等：延床面積 394㎡ 名称：海洋スポーツセンター 目的：海洋性の体育・スポーツ及びレクリエーションに関する原理、実践方法及び指導技術等を教育研究するとともに、学生、教員等の海洋性スポーツの実践の場として、海洋性スポーツの充実発展に寄与することを目的とする。 所在地：鹿児島県鹿屋市高須町2457 設置年月：昭和62年4月 規模等：延床面積 1,167㎡ 名称：スポーツトレーニング教育研究センター 目的：発育発達段階に応じたトレーニング方法の開発・研究を推進し、スポーツの振興に資することを目的とする。 所在地：鹿児島県鹿屋市白水町1番地 設置年月：平成6年5月 規模等：延床面積 1,017㎡ 名称：生涯スポーツ実践センター 目的：人々のライフステージに応じ、その生活環境及び健康状態に即した運動・スポーツを推進するため、教育及び調査研究を行うとともに、それに関連する事業を実施し、生涯スポーツの振興に資することを目的とする。 所在地：鹿児島県鹿屋市白水町1番地 設置年月：平成13年4月 規模等：延床面積 81㎡								

附属施設の概要	名称：スポーツ情報センター
	目的：本学の情報処理機能の高度化と学外の情報ネットワークとの連携を推進し、マルチメディアを活用した教育及び研究に資するとともに、情報の発信を通して体育・スポーツの進展に寄与することを目的とする。
	所在地：鹿児島県鹿屋市白水町1番地
	設置年月：平成10年12月
	規模等：延床面積 269㎡
名称：スポーツパフォーマンス研究センター	
目的：競技力向上を中心としたスポーツパフォーマンス研究を推進することを目的とする。	
所在地：鹿児島県鹿屋市白水町1番地	
設置年月：平成30年4月	
規模等：延床面積 4,254㎡	
<その他附属施設>	
名称：アドミッションセンター	
目的：本学におけるアドミッションオフィス方式による入学者選抜試験の企画・実施、入学者選抜方法等の調査研究、高大連携及び入学者選抜に係る企画・広報、入学時から卒業後までの追跡調査等の業務を専門的、有機的に行い、もって本学の教育研究の充実発展に資することを目的とする。	
所在地：鹿児島県鹿屋市白水町1番地	
設置年月：平成15年4月	
規模等：-	
名称：保健管理センター	
目的：学生及び職員の保健管理並びに健康増進に関する専門的業務を行い、心身の健康の保持増進を図るとともに、学生の修学、生活等の相談を行うことを目的とする。	
所在地：鹿児島県鹿屋市白水町1番地	
設置年月：昭和63年5月	
規模等：延床面積 200㎡	

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校に於ける収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

基本計画書（共同学科等）

事項	記入欄																			
計画の区分	研究科の専攻の設置																			
構成大学の設置者	国立大学法人鹿屋体育大学						国立大学法人筑波大学													
構成大学の名称	鹿屋体育大学大学院						筑波大学大学院													
構成大学の本部の位置	鹿児島県鹿屋市白水町1番地						茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1													
共同学科等の名称	スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程）[Joint Master's Program in International Development and Peace through Sport]																			
共同学科等の目的	スポーツ・体育・健康に関する理論的・実践的な知識を英語によって学び、国際平和と友好、豊かな地域社会の創造に寄与し、指導的役割を担うことのできる高度専門職業人・研究者を養成する。																			
共同学科等の概要	入学定員	編入学定員	収容定員	/	入学定員	編入学定員	収容定員	/	修業年限	入学定員 (合計)	編入学定員 (合計)	収容定員 (合計)								
	3	-	6		5	-	10		2	8	-	16								
学位	修士（スポーツ国際開発学）[Master of Arts in International Development and Peace through Sport]																			
開設時期及び開設年次	令和2年4月 1年次																			
教育課程 (各構成大学が開設する授業科目数)	講義	演習	実験・演習	計	講義	演習	実験・演習	計	講義 (合計)	演習 (合計)	実験・演習 (合計)	計								
	7科目	2科目	1科目	10科目	25科目	7科目	2科目	34科目	29科目	7科目	2科目	38科目								
教員組織の概要	専任教員等				兼任 教員等	専任教員等				兼任 教員等	専任教員等（合計）				兼任 教員等 （合計）					
	教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	2人	3人	0人	0人	5人	0人	2人	1人	0人	1人	4人	0人	10人	4人	4人	0人	1人	9人	0人	12人
	(2)	(3)	(0)	(0)	(5)	(0)	(2)	(1)	(0)	(1)	(4)	(0)	(10)	(4)	(4)	(0)	(1)	(9)	(0)	(12)
	研究指導教員等				その他の 教員	研究指導教員等				その他の 教員	研究指導教員等（合計）				その他の 教員 （合計）					
教授	准教授	講師	助教	計	その他の 教員	教授	准教授	講師	助教	計	その他の 教員	教授	准教授	講師	助教	計	その他の 教員 （合計）			
1人	3人	0人	0人	4人	3人	2人	1人	0人	1人	4人	10人	3人	4人	0人	1人	8人	0人	13人		
(1)	(3)	(0)	(0)	(4)	(3)	(2)	(1)	(0)	(1)	(4)	(10)	(3)	(4)	(0)	(1)	(8)	(0)	(13)		
教員以外の 職員の概要	専任			兼任			専任			兼任			専任			兼任				
	事務職員	60人	27人	87人	712人	345人	1,057人	60人	27人	87人	712人	345人	1,057人							
	技術職員	7人	0人	7人	580人	950人	1,530人	7人	0人	7人	580人	950人	1,530人							
	図書館専門職員	0人	0人	0人	52人	4人	56人	0人	0人	0人	52人	4人	56人							
	その他の職員	1人	18人	19人	8人	32人	40人	1人	18人	19人	8人	32人	40人							
計	68人	45人	113人	1,352人	1,331人	2,683人	68人	45人	113人	1,352人	1,331人	2,683人								
	(68)	(45)	(113)	(1,352)	(1,331)	(2,683)	(68)	(45)	(113)	(1,352)	(1,331)	(2,683)								

校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	専用(合計)	共用(合計)	共用する他の学校等の専用(合計)	計	
	校舎敷地		134,622 m ²	m ²	m ²	139,909 m ²	1,373,254 m ²	0m ²	0m ²	1,373,254 m ²	1,513,163 m ²	0m ²	0m ²	1,513,163 m ²
運動場用地		168,701 m ²	m ²	m ²	168,701 m ²	344,887 m ²	0m ²	0m ²	344,887 m ²	513,588 m ²	0m ²	0m ²	513,588 m ²	
小計		303,323 m ²	m ²	m ²	308,610 m ²	1,718,141 m ²	0m ²	0m ²	1,718,141 m ²	2,026,751 m ²	0m ²	0m ²	2,026,751 m ²	
その他		75,785 m ²	m ²	m ²	33,072 m ²	797,247 m ²	0m ²	0m ²	797,247 m ²	830,319 m ²	0m ²	0m ²	830,319 m ²	
合計		379,108 m ²	m ²	m ²	341,682 m ²	2,515,388 m ²	0m ²	0m ²	2,515,388 m ²	2,857,070 m ²	0m ²	0m ²	2,857,070 m ²	
大学全体の収容定員(うち共同学科に係る収容定員を除いた数)		760人(748)				14,418人(14,409)								
教室等		講義室	演習室	実験実習室	講義室	演習室	実験実習室							
		14室	9室	30室	332室	300室	2,031室							
		情報処理学習施設		語学学習施設			情報処理学習施設		語学学習施設					
		2室(補助職員1人)		2室(補助職員0人)			30室(補助職員12人)		7室(補助職員14人)					
専任教員研究室数						1,831室								
図書・設備		図書	学術雑誌	視聴覚資料	機械器具	標本	図書	学術雑誌	視聴覚資料	機械器具	標本			
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種				電子ジャーナル [うち外国書]	[うち外国書] 冊				[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]	
		116,221(24,512)	2,508(586)	4,437(4,437)	867	31	0	2,681,796(1,044,194)	30,364(12,874)	31,466(31,404)	17,262	24,989	551	
(116,221(24,512))	(2,508(586))	(4,437(4,437))	(867)	(31)	(0)	(2,681,796(1,044,194))	(30,364(12,874))	(31,466(31,404))	(17,262)	(24,989)	(551)			
図書館		積閲覧座席数			収納可能冊数			積閲覧座席数			収納可能冊数			
		1,288 m ²		106	108,667			30,041 m ²		2,230	2,606,501			
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次					
		第4年次	第5年次	第6年次		第4年次	第5年次	第6年次						
	教員1人当り研究費等		—千円	—千円	—千円		—千円	—千円	—千円					
	共同研究費等		—千円	—千円	—千円		—千円	—千円	—千円					
	図書購入費		—千円	—千円	—千円		—千円	—千円	—千円					
	設備購入費		—千円	—千円	—千円		—千円	—千円	—千円					
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次					
		第5年次	第6年次			第5年次	第6年次							
		—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円					
	学生納付金以外の維持方法の概要	該当なし				該当なし								
備考	国費による				国費による									

既設学部等の状況	大 学 の 名 称 鹿屋体育大学							
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設年度	所 在 地
	<大学院>	年	人	年次人	人			
	体育学研究科							
	体育学専攻 (修士課程)	2	15	-	30	修士 (体育学)	昭和63年度	鹿児島県鹿屋市白水町1番地
	体育学専攻 (博士後期課程)	3	6	-	18	博士 (体育学)	平成16年度	鹿児島県鹿屋市白水町1番地
	スポーツ国際開発学共同専攻 (修士課程)	2	3	-	6	修士 (スポーツ国際開発学)	平成28年度	鹿児島県鹿屋市白水町1番地
	大学体育スポーツ高度化共同専攻 (後期3年のみの博士課程)	3	2	-	6	博士 (体育スポーツ学)	平成28年度	鹿児島県鹿屋市白水町1番地
	<学士課程>							
	スポーツ総合課程	4	120	-	480	学士 (体育学)	平成18年度	鹿児島県鹿屋市白水町1番地
	武道課程	4	50	-	200	学士 (体育学)	昭和59年度	鹿児島県鹿屋市白水町1番地
	3年次編入学	2	-	20	40	学士 (体育学)	平成20年度	鹿児島県鹿屋市白水町1番地

校 舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計
	14,549 m ² (14,549 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	14,549 m ² (14,549 m ²)

既設学部等の状況	大 学 の 名 称 筑波大学							
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設年度	所 在 地
	<学士課程>							
	人文・文化学群							
	人文学類	4	120	-	480	学士 (人文学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
	比較文化学類	4	80	-	320	学士 (比較文化)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
	日本語・日本文化学類	4	40	-	160	学士 (文学) (日本語教育)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
	社会・国際学群							
	社会学類	4	80	3年次10	340	学士 (社会学) (法学) (政治学) (経済学) (国際社会科学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
	国際総合学類	4	80	-	320	学士 (国際関係学) (国際開発学) (国際社会科学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
	人間学群							

教育学類	4	35	—	140	学士 (教育学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
心理学類	4	50	—	200	学士 (心理学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
障害科学類	4	35	—	140	学士 (障害科学) (特別支援教育学) (社会福祉学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
生命環境学群							
生物学類	4	80	—	320	学士 (理学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
生物資源学類	4	120	3年次10	500	学士 (生物資源学) (農学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
地球学類	4	50	—	200	学士 (理学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
理工学群							
数学類	4	40	—	160	学士 (理学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
物理学類	4	60	—	240	学士 (理学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
化学類	4	50	—	200	学士 (理学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
応用理工学類	4	120	3年次10	500	学士 (工学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
工学システム学類	4	130	—	520	学士 (工学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
社会工学類	4	120	—	480	学士 (社会工学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
情報学群							
情報科学類	4	80	3年次10	340	学士 (情報科学) (情報工学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
情報メディア創成学類	4	50	3年次10	220	学士 (情報メディア科学)	平成19年度	茨城県つくば市春日1-2
知識情報・図書館学類	4	100	3年次10	420	学士 (図書館情報学)	平成19年度	茨城県つくば市春日1-2
医学群							
医学類(臨時定員増含む)	6	135	2年次5	813	学士 (医学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
看護学類	4	70	3年次10	300	学士 (看護学) (ヘルスケア)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
医療科学類	4	37	3年次3	154	学士 (医療科学) (国際医療科学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
体育専門学群	4	240	—	960	学士 (体育学)	昭和49年度	茨城県つくば市天王台1-1-1

芸術専門学群	4	100	—	400	学士 (芸術学)	昭和50年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
<大学院>							
教育研究科							
スクーラー・デザイン開発専攻 (修士課程)	2	20	—	39	修士 (教育学)	平成18年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
教科教育専攻 (修士課程)	2	80	—	160	修士 (教育学)	昭和53年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
人文社会科学研究科							
現代語・現代文化専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士 (文学) (言語学) (学術)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
国際公共政策専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士 (政治学) (社会学) (国際政治経済学) (国際公共政策) (学術)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
国際日本研究専攻 (博士前期課程)	2	25	—	50	修士 (人文科学) (社会科学) (国際日本研究) (日本語教育学)	平成27年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
国際地域研究専攻 (修士課程)	2	36	—	72	修士 (地域研究) (国際学) (公共政策) (経済学) (学術)	平成27年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
現代語・現代文化専攻 (博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (文学) (言語学) (学術)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
国際公共政策専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (政治学) (社会学) (国際政治経済学) (国際公共政策) (学術)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
国際日本研究専攻 (博士後期課程)	3	19	—	57	博士 (人文科学) (社会科学) (国際日本研究) (日本語教育学) (学術)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
哲学・思想専攻 (一貫制博士課程)	5	6	—	30	博士 (文学)	平成13年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
歴史・人類学専攻 (一貫制博士課程)	5	12	—	60	博士 (文学)	平成13年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
文芸・言語専攻 (一貫制博士課程)	5	20	—	100	博士 (文学)	平成13年度	茨城県つくば市天王台1-1-1

					(言語学)		
ビジネス科学研究科							
経営システム科学専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士 (経営学) (経営システム科学)	平成13年度	東京都文京区大塚3-29-1
企業法学専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士 (法学)	平成13年度	東京都文京区大塚3-29-1
企業科学専攻 (博士後期課程)	3	23	—	69	博士 (経営学) (システムズ・マネジメント)	平成13年度	東京都文京区大塚3-29-1
法曹専攻 (専門職学位課程・法科大学院)	3	36	—	108	法務博士 (専門職)	平成17年度	東京都文京区大塚3-29-1
国際経営プロフェッショナル専攻 (専門職学位課程)	2	30	—	60	国際経営修士 (専門職)	平成17年度	東京都文京区大塚3-29-1
数理物質科学研究科							
数学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士 (理学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
物理学専攻 (博士前期課程)	2	50	—	100	修士 (理学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
化学専攻 (博士前期課程)	2	48	—	96	修士 (理学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
電子・物理工学専攻 (博士前期課程)	2	54	—	108	修士 (工学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
物性・分子工学専攻 (博士前期課程)	2	61	—	122	修士 (工学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
数学専攻 (博士後期課程)	3	12	—	36	博士 (理学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
物理学専攻 (博士後期課程)	3	20	—	60	博士 (理学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
化学専攻 (博士後期課程)	3	16	—	48	博士 (理学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻 (博士後期課程)	3	25	—	75	博士 (理学) (工学)	平成24年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
電子・物理工学専攻 (博士後期課程)	3	16	—	48	博士 (工学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
物性・分子工学専攻 (博士後期課程)	3	13	—	39	博士 (工学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
物質・材料工学専攻 (後期3年のみの博士課程)	3	9	—	27	博士 (工学)	平成16年度	茨城県つくば市千現1-2-1他 (物質・材料研究機構)
システム情報工学研究科							
社会工学専攻 (博士前期課程)	2	108	—	216	修士 (社会工学) (サービス工学)	平成26年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
リスク工学専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士 (社会工学) (工学)	平成13年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
コンピュータサイエンス専攻 (博士前期課程)	2	113	—	226	修士 (工学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1

知能機能システム専攻 (博士前期課程)	2	108	—	216	修士 (工学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
構造エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	68	—	136	修士 (工学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
社会工学専攻 (博士後期課程)	3	26	—	78	博士 (社会工学)	平成26年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
リスク工学専攻 (博士後期課程)	3	12	—	36	博士 (社会工学) (工学)	平成13年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
コンピュータ工学専攻 (博士後期課程)	3	28	—	84	博士 (工学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
知能機能システム専攻 (博士後期課程)	3	24	—	72	博士 (工学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
構造エネルギー工学専攻 (博士後期課程)	3	16	—	48	博士 (工学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
生命環境科学研究科 地球科学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士 (理学) (地球科学) (地球環境科学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
生物科学専攻 (博士前期課程)	2	49	—	98	修士 (理学) (生物科学)	平成17年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
生物資源科学専攻 (博士前期課程)	2	106	—	212	修士 (農学) (生物資源工学) (生物工学) (バイオテクノロジー) (学術)	平成17年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
環境科学専攻 (博士前期課程)	2	69	—	138	修士 (環境科学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
国際連携持続環境科学専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士 (持続環境科学)	平成29年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
地球環境科学専攻 (博士後期課程)	3	11	—	33	博士 (理学) (地球環境科学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
地球進化科学専攻 (博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (理学) (地球科学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
生物科学専攻 (博士後期課程)	3	26	—	78	博士 (理学) (生物科学) (学術)	平成23年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
国際地縁技術開発科学専攻 (博士後期課程)	3	22	—	66	博士 (農学) (生物資源工学) (学術)	平成17年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
生物圏資源科学専攻 (博士後期課程)	3	20	—	60	博士 (農学) (学術)	平成17年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
生物機能科学専攻 (博士後期課程)	3	21	—	63	博士 (農学) (生物工学)	平成17年度	茨城県つくば市天王台1-1-1

生命産業科学専攻 (博士後期課程)	3	12	—	36	(学術) 博士 (農学) (生物工学) (生物科学)	平成17年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
持続環境学専攻 (博士後期課程)	3	12	—	36	(学術) 博士 (環境学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
先端農業技術科学専攻 (後期3年のみの博士課程)	3	6	—	18	博士 (農学)	平成17年度	茨城県つくば市観音台3-1-1 (農業・食品産業技術総合研究機構)
環境バイオマス共生学専攻 (一貫制博士課程)	5	21	—	105	博士 (学術)	平成24年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
人間総合科学研究科 スポーツ健康システム・マネジメント専攻 (修士課程)	2	24	—	48	修士 (体育学) (保健学)	平成20年度	東京都文京区大塚3-29-1
フロンティア医科学専攻 (修士課程)	2	50	—	100	修士 (医科学) (公衆衛生学) (ヒューマン・ケア科学)	平成18年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
教育学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士 (教育学)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
心理専攻 (博士前期課程)	2	16	—	32	修士 (心理学)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
障害科学専攻 (博士前期課程)	2	45	—	90	修士 (障害科学) (特別支援教育学)	平成25年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
生涯発達専攻 (博士前期課程)	2	46	—	92	修士 (カウンセリング) (リハビリテーション)	平成20年度	東京都文京区大塚3-29-1
感性認知脳科学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士 (感性科学) (行動科学) (神経科学)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
看護科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士 (看護科学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
体育学専攻 (博士前期課程)	2	115	—	230	修士 (体育学) (コーチング学) <small>(スポーツ・オリエンティック学)</small>	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
芸術専攻 (博士前期課程)	2	60	—	120	修士 (芸術学) (デザイン学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
世界遺産専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士 (世界遺産学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
スポーツ国際開発学共同専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (スポーツ国際開発学)	平成28年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
国際連携食料健康科学専攻 (博士前期課程)	2	9	—	18	修士 (食料健康科学)	平成29年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
教育基礎学専攻 (博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (教育学)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1

学校教育学専攻 (博士後期課程)	3	6	—	18	博士 (教育学) (学術)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
心理学専攻 (博士後期課程)	3	6	—	18	博士 (心理学) (学術)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
障害科学専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (障害科学)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
生涯発達科学専攻 (博士後期課程)	3	6	—	18	博士 (生涯発達科学) (カウンセリング科学) (リハビリテーション科学)	平成20年度	東京都文京区大塚3-29-1
ヒューマン・ケア科学専攻 (後期3年のみの博士課程)	3	18	—	54	博士 (ヒューマン・ケア科学) (教育学) (心理学) (体育科学) (公衆衛生学) (学術)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
感性認知脳科学専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (感性科学) (行動科学) (神経科学) (学術)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
看護科学専攻 (博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (看護科学)	平成21年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
体育科学専攻 (博士後期課程)	3	15	—	45	博士 (体育科学) (健康スポーツ科学) (学術)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
コーチング学専攻 (後期3年のみの博士課程)	3	5	—	15	博士 (コーチング学) (学術)	平成18年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
スポーツ医学専攻 (後期3年のみの博士課程)	3	10	—	30	博士 (スポーツ医学) (学術)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
芸術専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (芸術学) (デザイン学)	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
世界文化遺産学専攻 (博士後期課程)	3	7	—	21	博士 (世界遺産学) (学術)	平成18年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
生命システム医学専攻 (医学を履修する博士課程)	4	28	—	112	博士 (医学) (学術)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
疾患制御医学専攻 (医学を履修する博士課程)	4	34	—	136	博士 (医学) (学術)	平成20年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
大学体育スポーツ高度化共同専攻 (後期3年のみの博士課程)	3	3	—	9	博士 (体育スポーツ学)	平成28年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
図書館情報メディア研究科 図書館情報メディア専攻 (博士前期課程)	2	37	—	74	修士 (図書館情報学)	平成15年度	茨城県つくば市春日1-2

図書館情報メディア専攻 (博士後期課程)	3	21	—	63	(情報学) 博士 (図書館情報学) (情報学) (学術)	平成15年度	茨城県つくば市春日1-2
<以下は学生募集を停止している専攻> 社会システム・マネジメント専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (社会経済) (社会工学) (マネジメント) (工学)	平成12年度	茨城県つくば市天王台1-1-1
校舎	専用		共用		共用する他の 学校等の専用		計
	478,742㎡ (478,742㎡)		0㎡ (0 ㎡)		0㎡ (0 ㎡)		478,742㎡ (478,742㎡)

教育課程等の概要（共同学科等）

（体育学研究科 スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程））

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	International Development and Peace through Sport I (スポーツ国際開発論I)	1・2前	筑波大学・鹿屋体育大学	1			○				2		1		○ムニバス, ｽﾍﾞｲﾌ
	Olympic Movement Studies (オリンピックムーブメント論)	1・2前	鹿屋体育大学	1			○				2				ｽﾍﾞｲﾌ
	Diffusion of Japanese Culture (日本文化伝播論)	1・2前	筑波大学・鹿屋体育大学	1			○								兼2 ｽﾍﾞｲﾌ
	Sport, Culture and Society (スポーツ・文化・社会)	1・2後	筑波大学		1		○				1				兼1 ｽﾍﾞｲﾌ
	Sport Promotion (スポーツプロモーション論)	1・2後	鹿屋体育大学		1		○				1				集中, ｽﾍﾞｲﾌ
	International Sport Policy Studies (国際スポーツ政策研究)	1・2前	筑波大学		1		○				1				集中, ｽﾍﾞｲﾌ
	Sport Management (スポーツマネジメント論)	1・2前	鹿屋体育大学		1		○				1				兼1 ｽﾍﾞｲﾌ
	Sport and Person with Disabilities (PWDs) (スポーツと障がい者)	1・2後	筑波大学		1		○								兼1 ｽﾍﾞｲﾌ
	Health Promotion (ヘルスプロモーション論)	1・2前	鹿屋体育大学		1		○				1				集中, ｽﾍﾞｲﾌ
	Advanced Coach Education (上級コーチ教育論)	1・2前	筑波大学		1		○				1				ｽﾍﾞｲﾌ
	Research Methods (研究方法論)	1・2前	筑波大学・鹿屋体育大学	1			○				2	1		1	兼1 ○ムニバス, ｽﾍﾞｲﾌ
Cross cultural studies in physical sport education (比較体育科教育論)	1・2後	筑波大学	1			○				1				ｽﾍﾞｲﾌ	
小計 (12科目)	—			5	7	0	—			4	4	0	1	0	兼6 —
講義・応用	International Development and Peace through Sport II (スポーツ国際開発論II)	1・2後	筑波大学	1			○				1	1		1	兼1 ○ムニバス, ｽﾍﾞｲﾌ
	Management and Organization (経営マネジメント論)	1・2前	筑波大学		1		○						1		集中, ｽﾍﾞｲﾌ
	Project Management (プロジェクトマネジメント論)	1・2後	筑波大学		1		○						1		兼1 集中, ｽﾍﾞｲﾌ
	Research Project Management (研究プロジェクトマネジメント)	1・2後	筑波大学		1		○								兼1 ｽﾍﾞｲﾌ
	Research Project Management 【Practical】 (研究プロジェクトマネジメント(実践))	1・2後	筑波大学		1		○								兼1 ｽﾍﾞｲﾌ
小計 (5科目)	—			1	4	0	—			1	1	0	1	0	兼3

講義・関連	Principles of Development (開発学原論)	1後	筑波大学		2		○								兼1	ｽﾀｲﾌﾟ
	Public Policy for Social Development IA (社会開発のための公共政策IA)	1・2前	筑波大学		1		○								兼1	隔年,ｽﾀｲﾌﾟ
	Public Policy for Social Development IB (社会開発のための公共政策IB)	1・2前	筑波大学		1		○								兼1	隔年,ｽﾀｲﾌﾟ
	Public Policy for Social Development IIA (社会開発のための公共政策IIA)	1・2前	筑波大学		1		○								兼1	隔年,ｽﾀｲﾌﾟ
	Public Policy for Social Development IIB (社会開発のための公共政策IIB)	1・2前	筑波大学		1		○								兼1	隔年,ｽﾀｲﾌﾟ
	Multicultural Coexistence (多文化共生論)	1・2後	筑波大学		1		○				1					集中,ｽﾀｲﾌﾟ
	International Politics IA (国際政治学IA)	1・2前	筑波大学		1		○								兼1	隔年,ｽﾀｲﾌﾟ
	International Politics IB (国際政治学IB)	1・2前	筑波大学		1		○								兼1	隔年,ｽﾀｲﾌﾟ
	International Politics IIA (国際政治学IIA)	1・2前	筑波大学		1		○								兼1	隔年,ｽﾀｲﾌﾟ
	International Politics IIB (国際政治学IIB)	1・2前	筑波大学		1		○								兼1	隔年,ｽﾀｲﾌﾟ
	Economics of Development in Asia I (アジアにおける開発経済学I)	1・2前	筑波大学		1		○								兼1	隔年,ｽﾀｲﾌﾟ
	Economics of Development in Asia II (アジアにおける開発経済学II)	1・2前	筑波大学		1		○								兼1	隔年,ｽﾀｲﾌﾟ
小計 (12科目)	—			0	13	0	—		0	0	0	1	0	兼2		
演習・学内	IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習)	1・2通	鹿屋体育大学・筑波大学	4			○		4	4		1		兼1	ｽﾀｲﾌﾟ	
	Research Project (課題研究)	2後	鹿屋体育大学・筑波大学	4			○		4	4		1		兼1	ｽﾀｲﾌﾟ	
演習・学外	JSC Seminar (JSCセミナー)	1・2通	筑波大学		1		○		1			1		兼3	集中	
	JSC Project (JSCプロジェクト)	1・2通	筑波大学		1		○		1			1		兼3	集中	
	Seminar in Universities Abroad (国外大学セミナー)	1・2通	筑波大学		1		○		1						集中	
	International Conference and Seminar (国際カンファレンス・セミナー)	1・2通	筑波大学		1		○		1			1		兼1	集中	
	NGO Activities (NGO等プロジェクト)	1・2通	筑波大学		1		○					1			集中	
実践・母国	On the Job Practice (Domestic)	1・2通	筑波大学		2		○		1			1		兼3	集中	
	On the Job Practice (International)	1・2通	鹿屋体育大学・筑波大学	6			○		1	2		1		兼2	集中	
小計 (9科目)	—			14	7	0	—		4	4	0	1	0	兼5	—	
合計 (38科目)	—			20	31	0	—		4	4	0	1	0	兼12	—	
学位又は称号	修士 (スポーツ国際開発学)		学位又は学科の分野				体育関係									

卒業要件及び履修方法	開設大学	開設単位数(必修)	授業期間等	
(修了要件) 2年以上在学し、所定の履修方法により30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。	筑波大学	47 (19)	1 学年の学期区分	2期
			1 学期の授業期間	15週
(履修方法) 必修科目を含めて30単位以上(筑波大学と鹿屋体育大学の開設科目からそれぞれ10単位以上を含む)を修得すること。	鹿屋体育大学	21 (18)	1 時限の授業時間	筑波大学：75分 鹿屋体育大学：90分

教育課程等の概要															
(体育学研究科 スポーツ国際開発学共同専攻 (修士課程))															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	International Development and Peace through Sport I (スポーツ国際開発論I)	1・2前	1			○				2					ムニバス, ｽﾃｲ
	Olympic Movement Studies (オリンピックムーブメント論)	1・2前	1			○			2						ｽﾃｲ
	Diffusion of Japanese Culture (日本文化伝播論)	1.2前	1			○									兼1 ｽﾃｲ
	Sport Promotion (スポーツプロモーション論)	1・2後		1		○				1					集中, ｽﾃｲ
	Sport Management (スポーツマネジメント論)	1・2前		1		○				1					兼1 ｽﾃｲ
	Health Promotion (ヘルスプロモーション論)	1・2前		1		○				1					集中, ｽﾃｲ
	Research Methods (研究方法論)	1・2前	1			○			1	1					ムニバス, ｽﾃｲ
小計 (7科目)		—	4	3	0	—			2	3	0	0	0	兼2	—
演習・学内	IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習)	1・2通	4				○		2	3					ｽﾃｲ
	Research Project (課題研究)	2後	4				○		2	3					ｽﾃｲ
	小計 (2科目)		—	8	0	0	—		2	3	0	0	0	—	—
実践・海外	On the Job Practice (International)	1・2通	6					○		1					兼2 集中
	小計 (1科目)		—	6	0	0	—		0	1	0	0	0	兼2	—
合計 (10科目)			—	18	3	0	—		2	3	0	0	0	兼2	—
学位又は称号		修士 (スポーツ国際開発学)			学位又は学科の分野			体育関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
(修了要件) 2年以上在学し、所定の履修方法により30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。 (履修方法) 必修科目を含めて30単位以上 (筑波大学と鹿屋体育大学の開設科目からそれぞれ10単位以上を含む) を修得すること。							1 学年の学期区分				2期				
							1 学期の授業期間				15週				
							1 時限の授業時間				90分				

- (注)
- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
 - 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
 - 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
 - 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要 (共同学科等)

【改組前】 (体育学研究科 スポーツ国際開発学共同専攻 (修士課程))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	International Development and Peace through Sport I (スポーツ国際開発論I)	1・2前	筑波大学・鹿屋体育大学	1			○				2		1		オムニバス, ｽﾃﾞｲﾌﾞ
	Olympic Movement Studies (オリンピックムーブメント論)	1・2前	筑波大学・鹿屋体育大学	1			○			3					ｽﾃﾞｲﾌﾞ
	Diffusion of Japanese Culture (日本文化伝播論)	1・2前	筑波大学・鹿屋体育大学	1			○			1					兼1 ｽﾃﾞｲﾌﾞ
	Sport, Culture and Society (スポーツ・文化・社会)	1・2後	筑波大学		1		○			1					兼1 ｽﾃﾞｲﾌﾞ
	Sport Promotion (スポーツプロモーション論)	1・2後	鹿屋体育大学		1		○			1					集中, ｽﾃﾞｲﾌﾞ
	International Sport Policy Studies (国際スポーツ政策研究)	1・2前	筑波大学		1		○			1					集中, ｽﾃﾞｲﾌﾞ
	Sport Management (スポーツマネジメント論)	1・2前	鹿屋体育大学		1		○			1					兼1
	Sport and Person with Disabilities (PWDs) (スポーツと障がい者)	1・2後	筑波大学		1		○								兼1 ｽﾃﾞｲﾌﾞ
	Health Promotion (ヘルスプロモーション論)	1・2前	鹿屋体育大学・筑波大学		1		○			1	1				集中, ｽﾃﾞｲﾌﾞ
	Advanced Coach Education (上級コーチ教育論)	1・2前	筑波大学		1		○			1					ｽﾃﾞｲﾌﾞ
	Research Methods (研究方法論)	1・2前	鹿屋体育大学・筑波大学	1			○			2	1				兼1 オムニバス, ｽﾃﾞｲﾌﾞ
Cross cultural studies in physical sport education (比較体育科教育論)	1・2後	筑波大学	1			○			1						
小計 (12科目)	—			5	7	0	—			6	5	0	1	0	兼5 ー
講義・応用	International Development and Peace through Sport II (スポーツ国際開発論II)	1・2後	筑波大学	1			○			1	1		1		オムニバス, ｽﾃﾞｲﾌﾞ
	Management and Organization (経営マネジメント論)	1・2前	筑波大学		1		○						1		集中, ｽﾃﾞｲﾌﾞ
	Project Management (プロジェクトマネジメント論)	1・2後	筑波大学		1		○						1		兼1 集中, ｽﾃﾞｲﾌﾞ
	Research Project Management (研究プロジェクトマネジメント)	1・2後	筑波大学		1		○								兼1 ｽﾃﾞｲﾌﾞ
	Research Project Management 【Practical】 (研究プロジェクトマネジメント(実践))	1・2後	筑波大学		1		○								兼1 ｽﾃﾞｲﾌﾞ
小計 (5科目)	—			1	4	0	—			1	1	0	1	0	兼2
講義・関連	Principles of Development (開発学原論)	1後	筑波大学		2		○								兼1 ｽﾃﾞｲﾌﾞ
	Public Policy for Social Development IA (社会開発のための公共政策IA)	1・2前	筑波大学		1		○								兼1 隔年, ｽﾃﾞｲﾌﾞ
	Public Policy for Social Development IB (社会開発のための公共政策IB)	1・2前	筑波大学		1		○								兼1 隔年, ｽﾃﾞｲﾌﾞ

	Public Policy for Social Development IIA (社会開発のための公共政策IIA)	1・2前	筑波大学	1		○								兼1	隔年, ｽﾏｽﾞ17
	Public Policy for Social Development IIB (社会開発のための公共政策IIB)	1・2前	筑波大学	1		○								兼1	隔年, ｽﾏｽﾞ17
	Multicultural Coexistence (多文化共生論)	1・2後	筑波大学	1		○				1					集中, ｽﾏｽﾞ17
	International Politics IA (国際政治学IA)	1・2前	筑波大学	1		○								兼1	隔年, ｽﾏｽﾞ17
	International Politics IB (国際政治学IB)	1・2前	筑波大学	1		○								兼1	隔年, ｽﾏｽﾞ17
	International Politics IIA (国際政治学IIA)	1・2前	筑波大学	1		○								兼1	隔年, ｽﾏｽﾞ17
	International Politics IIB (国際政治学IIB)	1・2前	筑波大学	1		○								兼1	隔年, ｽﾏｽﾞ17
	Economics of Development in Asia I (アジアにおける開発経済学I)	1・2前	筑波大学	1		○								兼1	隔年, ｽﾏｽﾞ17
	Economics of Development in Asia II (アジアにおける開発経済学II)	1・2前	筑波大学	1		○								兼1	隔年, ｽﾏｽﾞ17
	小計 (12科目)	—		0	13	0		—		0	0	0	1	0	兼2
演習・学内	IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習)	1・2通	鹿屋体育大学・筑波大学	4			○			6	5		1		ｽﾏｽﾞ17
	Research Project (課題研究)	2後	鹿屋体育大学・筑波大学	4			○			6	5		1		ｽﾏｽﾞ17
演習・学外	JSC Seminar (JSCセミナー)	1・2通	筑波大学	1			○			1	1		1		兼2 集中
	JSC Project (JSCプロジェクト)	1・2通	筑波大学	1			○			1	1		1		兼2 集中
	Seminar in Universities Abroad (国外大学セミナー)	1・2通	筑波大学	1			○			1					集中
	International Conference and Seminar (国際カンファレンス・セミナー)	1・2通	筑波大学	1			○			1	1		1		集中
	NGO Activities (NGO等プロジェクト)	1・2通	筑波大学	1			○						1		集中
実践・母国	On the Job Practice (Domestic)	1・2通	筑波大学	2			○			1	1		1		兼2 集中
実践・海外	On the Job Practice (International)	1・2通	鹿屋体育大学・筑波大学	6			○			1	2		1		兼2 集中
	小計 (9科目)	—		14	7	0		—		6	5		1		兼4 —
	合計 (38科目)	—		20	31	0		—		6	5		1		兼11 —
学位又は称号	修士 (スポーツ国際開発学)	学位又は学科の分野		体育関係											
卒業要件及び履修方法		開設大学	開設単位数 (必修)	授業期間等											
(修了要件) 2年以上在学し、所定の履修方法により30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。		筑波大学	49 (20)	1 学年の学期区分		2期									
				1 学期の授業期間		15週									
(履修方法) 必修科目を含めて30単位以上 (筑波大学と鹿屋体育大学の開設科目からそれぞれ10単位以上を含む) を修得すること。		鹿屋体育大学	21 (18)	1 時限の授業時間		筑波大学 : 75分 鹿屋体育大学 : 90分									

教 育 課 程 等 の 概 要															
【改組前】（体育学研究科 スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程））															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	講義・基礎 International Development and Peace through Sport I（スポーツ国際開発論I）	1・2前	1			○				2					オムニバス, 17
	Olympic Movement Studies（オリンピックムーブメント論）	1・2前	1			○			2						17
	Diffusion of Japanese Culture（日本文化伝播論）	1・2前	1			○								兼1	17
	Sport Promotion（スポーツプロモーション論）	1・2後		1		○				1					集中, 17
	Sport Management（スポーツマネジメント論）	1・2前		1		○				1				兼1	
	Health Promotion（ヘルスプロモーション論）	1・2前		1		○				1					集中, 17
	Research Methods（研究方法論）	1・2前	1			○			1	1					オムニバス, 17
小計（7科目）		—	4	3	0	—			2	3	0	0	0	兼2	—
演習・学内	IDS Seminar: International Development and Peace through Sport（スポーツ国際開発学課題演習）	1・2通	4				○		2	3					17
	Research Project（課題研究）	2後	4				○		2	3					17
	小計（2科目）		—	8	0	0	—			2	3	0	0	0	—
実践・海外	On the Job Practice (International)	1・2通	6			○				1				兼2	集中
	小計（1科目）		—	6	0	0	—			0	1	0	0	0	兼2
合計（10科目）		—	18	3	0	—			2	3	0	0	0	兼2	—
学位又は称号		修士（スポーツ国際開発学）		学位又は学科の分野				体育関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
（修了要件） 2年以上在学し、所定の履修方法により30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。 （履修方法） 必修科目を含めて30単位以上（筑波大学と鹿屋体育大学の開設科目からそれぞれ10単位以上を含む）を修得すること。							1学年の学期区分			2期					
							1学期の授業期間			15週					
							1時限の授業時間			90分					

（注）

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要 (共同学科等)

(体育学部 スポーツ総合課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
コミュニケーション科目	英語Ⅰ	1	鹿屋体育大学	2				○		2					非1
	英語Ⅱ	2	鹿屋体育大学	2				○		2					非1
	上級英語	3	鹿屋体育大学		2			○		1					
	英語コミュニケーションⅠ	1	鹿屋体育大学	2				○			1				非2
	英語コミュニケーションⅡ	2	鹿屋体育大学	2				○			1				非2
	上級英語コミュニケーション	3	鹿屋体育大学		2			○			1				
	中国語	3	鹿屋体育大学		2			○							非1
	韓国語	3	鹿屋体育大学		2			○							非1
	国語・文章表現法	1	鹿屋体育大学		2				※						講義・演習 非3
	ドイツ語	3	鹿屋体育大学		2			○							非1
	フランス語	3	鹿屋体育大学		2			○							不開講
	留学生のための英語	1	鹿屋体育大学		2			○			1				
	日本語演習Ⅰ	1	鹿屋体育大学		2			○		1					
	日本語演習Ⅱ	2	鹿屋体育大学		2			○		1					
	日本事情	1	鹿屋体育大学		2			○		1					
	現代日本事情	2	鹿屋体育大学		2			○		1					
	各国文化研究	1~4	鹿屋体育大学		2			○							単位互換科目
	小計 (17科目)	—		8	26	0		—		3	1	0	0	0	
社会・文化・自然科目	倫理・哲学	1	鹿屋体育大学		2			○							非1
	人権論	1	鹿屋体育大学		1			○		1					
	ジェンダー論	1	鹿屋体育大学		1			○		1					
	歴史学	2	鹿屋体育大学		1			○		1					
	社会学	2	鹿屋体育大学		1			○		1			1		
	日本国憲法	1	鹿屋体育大学		2			○		1					
	日本文化論	1	鹿屋体育大学		2			○							非1
	異文化理解	3	鹿屋体育大学		2			○		2	2				
	国際関係論	4	鹿屋体育大学		2			○		1					
	生物化学論	1	鹿屋体育大学		2			○			1				
	身体科学論	1	鹿屋体育大学		2			○		7	5	3			
	環境論	1	鹿屋体育大学		2			○			1				
	小計 (12科目)	—		0	20	0		—		11	7	3	1	0	
総合科目	総合演習A	3	鹿屋体育大学		2			○		1					不開講
	総合演習B	2	鹿屋体育大学		2			○							不開講
	総合演習C	3	鹿屋体育大学		2			○							不開講
	総合演習D	2	鹿屋体育大学		2			○		2	3				
	総合演習E	2	鹿屋体育大学		2			○							不開講
	情報処理A	1	鹿屋体育大学		2			○			1				
	情報処理B	2	鹿屋体育大学		2			○			1				
	情報処理C	2	鹿屋体育大学		2			○							不開講
	プレゼンテーション・討論Ⅰ	2	鹿屋体育大学		1			○							非1
	プレゼンテーション・討論Ⅱ	3	鹿屋体育大学		1			○							非1
交流リベラルアーツ	1~4	鹿屋体育大学		—				※						単位互換科目	
	小計 (11科目)	—		0	18	0		—		2	4	0	0	0	

キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅠ	1	鹿屋体育大学	2			※											講義・演習 キャリア形成支援室	
	キャリアデザインⅡ	1	鹿屋体育大学	1			※											講義・演習 キャリア形成支援室	
	キャリアデザインⅢ	2	鹿屋体育大学	1			※											講義・演習 キャリア形成支援室	
	キャリアセミナー	3	鹿屋体育大学	1			※											講義・演習 キャリア形成支援室	
	キャリアコミュニケーション	3	鹿屋体育大学	2			※											講義・演習 非1	
	企業実習（1週）	2～3	鹿屋体育大学	1						○									キャリア形成支援室
	企業実習（2週）	2～3	鹿屋体育大学	2						○									キャリア形成支援室
	キャリア対策セミナー（教員）	3	鹿屋体育大学	1					○										キャリア形成支援室
	キャリア対策セミナー（一般企業）	3	鹿屋体育大学	1					○										キャリア形成支援室
	キャリア対策セミナー（公務員）	3	鹿屋体育大学	1					○										キャリア形成支援室
	ボランティア活動	1～4	鹿屋体育大学	1						○									非1 教務委員会
小計（11科目）	—			2	12	0	—				0	0	0	0	0	0			
基礎科目 A	解剖生理学	1	鹿屋体育大学	2			○												
	体育・スポーツ哲学と倫理	1	鹿屋体育大学	2			○				2			1					
	体育・スポーツ史	1	鹿屋体育大学	2			○				1								
	健康教育学	1	鹿屋体育大学	2			○				1								
	運動生理学	1	鹿屋体育大学	2			○				2								
	スポーツ栄養学	1	鹿屋体育大学	2			○							1					
	スポーツ社会学	2	鹿屋体育大学	2			○					1							
	スポーツ経営・管理学概論	2	鹿屋体育大学	2			○				1			1					
	生涯スポーツ学概論	2	鹿屋体育大学	2			○				1								
	スポーツ心理学	1	鹿屋体育大学	2			○					1		1					
	バイオメカニクス	2	鹿屋体育大学	2			○				1			1					
	衛生学・公衆衛生学	2	鹿屋体育大学	2			○					1							
	スポーツ医学	3	鹿屋体育大学	2			○				2								
小計（13科目）	—			0	26	0	—			9	3	6	0	0					
基礎科目 B	救急処置論・実習	2	鹿屋体育大学	2			※				3	1						講義・実習	
	トレーニング科学概論	2	鹿屋体育大学	2			○				1	1							
	スポーツカウンセリング論	2	鹿屋体育大学	2			○						1						
	運動学概論	2	鹿屋体育大学	1			○				1								
	学校保健	2	鹿屋体育大学	2			○				2								
	スポーツと法	3	鹿屋体育大学	2			○				1								
	コーチ学概論	2	鹿屋体育大学	1			※				1							講義・演習	
	障がい者スポーツ論	3	鹿屋体育大学	2			○				1							非1	
	武道学概論	1	鹿屋体育大学	2			○				2			1					
小計（9科目）	—			0	16	0	—			8	2	2	0	0					
応用科目	マッサージ・テーピング論・実習	3	鹿屋体育大学	2					※			1						講義・実習	
	生涯スポーツ実践論	3	鹿屋体育大学	2			○											非4	
	武道史	2	鹿屋体育大学	2			○						1						
	運動生化学	2	鹿屋体育大学	2			○					1							
	アスレチックリハビリテーション論	2	鹿屋体育大学	2			○				1	1							
	アスレチックリハビリテーション実習	3	鹿屋体育大学	1			○		○			1							
	スポーツ産業論	2	鹿屋体育大学	2			○				1		1						
	スポーツ老年学	2	鹿屋体育大学	2			○												
	スポーツ文化論	2	鹿屋体育大学	2			○												
	スポーツトレーニング実践論	3	鹿屋体育大学	2			※				1		1	1				非1 講義・演習	
	体育・スポーツ行政学	3	鹿屋体育大学	2			○								1				
	武道文化論	3	鹿屋体育大学	2			○							1					
	身体発育発達論	3	鹿屋体育大学	2			○							1					
	スポーツ戦術実践論	3	鹿屋体育大学	2			○				2	2	3						
社会調査論	3	鹿屋体育大学	2			○								1					

	スポーツ運営論	3	鹿屋体育大学	2		○				1	1				不開講	
	体育・スポーツ統計学	3	鹿屋体育大学	2		○										非1 講義・実習 教務委員会
	スポーツマーケティング論	3	鹿屋体育大学	2		○				1	1					
	運動処方論	3	鹿屋体育大学	2		○				1						
	応用スポーツ心理学	3	鹿屋体育大学	2		○				1	1					
	イベント管理学概論	3	鹿屋体育大学	2		○										
	ヘルスプロモーション論・実習	4	鹿屋体育大学	2				※	3							
	救急法実習	1~4	鹿屋体育大学	1				○								
	小計 (23科目)	—		0	44	0		—		7	7	7	2	0		
実験 演習 科目	体育学実験Ⅰ (運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学)	1	鹿屋体育大学	2				○		3	3	3				
	体育学実験Ⅱ (運動生理学)	2	鹿屋体育大学	4				○		1		1				
	体育学実験Ⅱ (バイオメカニクス)	2	鹿屋体育大学	4				○		1	1	1				
	体育学実験Ⅱ (スポーツ心理学)	2	鹿屋体育大学	4				○			1	1				
	体育学実験Ⅱ (衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学)	2	鹿屋体育大学	4				○			1	1				
	小計 (5科目)	—		2	16	0		—		3	3	3	0	0		
関連 実技 科目	陸上・体操・水泳	3	鹿屋体育大学	2				※	2	2	2	2			実技、非1 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技	
	バスケットボール	1	鹿屋体育大学	1				※		1	1					
	サッカー	1	鹿屋体育大学	1				※				1	1			
	バレーボール	3	鹿屋体育大学	1				※	1		1					
	テニス	2	鹿屋体育大学	1				※	1				1			
	卓球	3	鹿屋体育大学	1				※	2				1			
	バドミントン	3	鹿屋体育大学	1				※				2				
	ソフトボール	2	鹿屋体育大学	1				※	1		1	1				
	ダンス	3,4	鹿屋体育大学	1				※				1				
	柔道	1	鹿屋体育大学	1				※	1				1			
	剣道	1	鹿屋体育大学	1				※	1	1			1			
	エアロビックダンス	1	鹿屋体育大学	1				※								
	ジョギング&ウォーキング	2	鹿屋体育大学	1				※		2						
	生涯スポーツ・レクリエーション&ゲームズ	1	鹿屋体育大学	1				※				1	1			
	夏季山岳レジャースポーツ実習	2	鹿屋体育大学	1				※				1	1			
	冬季山岳レジャースポーツ実習	2	鹿屋体育大学	1				※	1		1	1				
	海洋スポーツ	2	鹿屋体育大学	1				※		1	1					
	ラグビー	2	鹿屋体育大学	1				※								
	ゴルフ	4	鹿屋体育大学	1				※	1				1			
	なぎなた	2	鹿屋体育大学	1				※								
	相撲	2	鹿屋体育大学	1				※								
	弓道	2,4	鹿屋体育大学	1				※								
野外活動	2	鹿屋体育大学	1				※				1					
体力トレーニング	2	鹿屋体育大学	1				※	1	1	1						
小計 (28科目)	—		0	25	0		—		7	5	8	7	0			
(ゼミ 卒業 研究)	ゼミナールⅠ	2	鹿屋体育大学	4				○								
	ゼミナールⅡ	3	鹿屋体育大学	4				○								
	ゼミナールⅢ	4	鹿屋体育大学	4				○								
	卒業研究	4	鹿屋体育大学	6				○								
小計 (4科目)	—		14	4	0		—		0	0	0	0	0			

専修科目	アスリート・コーチング系	競技スポーツ論・実習Ⅰ (陸上競技、水泳、体操競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、テニス、海洋スポーツ、自転車)	1	鹿屋体育大学	6			※	5	4	6	5		講義・実技 非2
		競技スポーツ論・実習Ⅱ (陸上競技、水泳、体操競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、テニス、海洋スポーツ、自転車)	2	鹿屋体育大学	6			※	5	4	6	5		講義・実技 非2
		競技スポーツ論・実習Ⅲ (陸上競技、水泳、体操競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、テニス、海洋スポーツ、自転車)	3	鹿屋体育大学	6			※	5	4	6	5		講義・実技 非2
		競技スポーツ論・実習Ⅳ (陸上競技、水泳、体操競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、テニス、海洋スポーツ、自転車)	4	鹿屋体育大学	6			※	5	4	6	5		講義・実技 非2
		小計(4科目)	—		0	24	0	—	5	4	6	5	0	
生涯スポーツ系	レジャー・レクリエーション論	2	鹿屋体育大学	2		○					1	1		
	施設・用具・プログラム論	2	鹿屋体育大学	2		○				1				
	生涯スポーツ論・演習Ⅰ (コミュニティ・スポーツ、健康体力、野外教育)	3	鹿屋体育大学	2			※	2	2	1				講義・演習
	生涯スポーツ論・演習Ⅱ (コミュニティ・スポーツ、健康体力、野外教育)	3	鹿屋体育大学	2			※	2	2	1				講義・演習
	小計(4科目)	—		0	8	0	—	2	3	1	1	0		
武道系	専修武道論・実習Ⅰ (柔道、剣道)	1	鹿屋体育大学	6			※	2	1		1			講義・実技
	専修武道論・実習Ⅱ (柔道、剣道)	2	鹿屋体育大学	6			※	2	1		1			講義・実技
	専修武道論・実習Ⅲ (柔道、剣道)	3	鹿屋体育大学	6			※	2	1		1			講義・実技
	専修武道論・実習Ⅳ (柔道、剣道)	4	鹿屋体育大学	6			※	2	1		1			講義・実技
	小計(4科目)	—		0	24	0	—	2	1	0	1	0		
指導実践科目	スポーツ指導実践概論	1	鹿屋体育大学	1		○			5	2	2			
	スポーツ指導実習 (スポーツコーチ実習)	3	鹿屋体育大学	1~2			○							スポーツ指導実習 小委員会
	スポーツ指導実習 (生涯スポーツ指導実習)	3	鹿屋体育大学	2			○							スポーツ指導実習 小委員会
	スポーツ指導実習 (武道指導実習)	3	鹿屋体育大学	1~2			○							スポーツ指導実習 小委員会
	S COOP実習	3~4	鹿屋体育大学	4			○		1	1				
小計(5科目)	—		1	10	0	—	5	3	2	0	0			
教職科目	教職	教師論	1	鹿屋体育大学	2		○							非1
		教育心理学	2	鹿屋体育大学	2		○			1				
		特別支援教育	2	鹿屋体育大学	1		○							不開講
		道徳の理論と指導法 (道徳教育の研究)	2	鹿屋体育大学	2		○							非1
		総合的な学習の時間の指導法	2	鹿屋体育大学	1		○							不開講
		特別活動論	2	鹿屋体育大学	1		○			1	1			非1
		教育方法・技術	2	鹿屋体育大学	2		○				1			非1
		学校と教育の歴史 (教育史)	3	鹿屋体育大学	2		○							非1
		教育法・教育行政	3	鹿屋体育大学	2		○		1					
教育課程論	3	鹿屋体育大学	1		○			1					非1	

	生徒・進路指導論 (生徒指導論)	3	鹿屋体育大学	2		○												非1
	教育相談・カウンセリング論	3	鹿屋体育大学	2		○					1	1						非1
	介護等体験	3	鹿屋体育大学	1					○									介護等体験 小委員会
	小計 (13科目)	—		0	21	0	—			1	2	3	0	0				
専 門	保健体育科教育法Ⅰ	2	鹿屋体育大学	2		○					1	1						非1
	保健体育科教育法Ⅱ	2	鹿屋体育大学	2		○					1	1						非1
	保健体育科教育法Ⅲ	3	鹿屋体育大学	2		※					1	1						講義・演習 非1
	保健体育科教育法Ⅳ	3	鹿屋体育大学	2		※					1	1						講義・演習 非1
	教育実習Ⅰ	4	鹿屋体育大学	5					○		1	1						非1
	教育実習Ⅱ	4	鹿屋体育大学	4					○		1	1						非1
	教職実践演習 (中・高)	4	鹿屋体育大学	2				○										教職教育等 小委員会
	小計 (7科目)	—		0	19	0	—			0	1	1	0	0				
合計 (175科目)		—		27	313	0	—			65	46	42	17	0				

学位又は称号		学士 (体育学)		学位又は学科の分野		体育関係					
卒業要件及び履修方法				開設大学	開設単位数 (必修)	授業期間等					
授業科目の区分		区分ごとの最低修得単位数		鹿屋体育大学	340 (27)	1学年の学期区分		2期			
		スポーツ総合課程	武道課程								
一般科目	コミュニケーション科目	10				12	38				
	社会・文化・自然科目	8									
	総合科目	4									
キャリア形成科目	キャリアデザイン科目	4									
専門科目	基礎科目A	14				アスリート・コーチング系	86				
	基礎科目B	10									
	応用科目	10									
	実験演習科目	2									
	関連実技科目	8									
	ゼミナール (卒業研究)	14									
専攻科目	専修科目	アスリート・コーチング系	18	2又は3	3	アスリート・コーチング系 7又は8	8				
		生涯スポーツ系	6								
	指導実践科目	アスリート・コーチング系	2又は3		3			3	19		
		生涯スポーツ系	3								
		武道系	2又は3								
教職科目	教職	「教職」科目で修得した単位数は、一般科目及びキャリア形成科目の卒業所要単位として6単位まで、「専門」科目の一部の科目で修得した単位数は、専門科目及び専攻科目の卒業所要単位として4単位まで認めることができます。						15週			
								1学期の授業期間			
								1時限の授業時間		90分	

(注)

- 1 共同学科等を設置する場合は、別記様式第2号 (その2の1) に代えて、この書類を作成すること。
- 2 共同学科等を設置する場合は、この書類に加え、別記様式第2号 (その2の1) の例により、構成大学別のものを作成すること。
- 3 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
- 4 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 5 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要 (共同学科等)

(体育学部 武道課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
コミュニケーション科目	英語Ⅰ	1	鹿屋体育大学	2				○		2					非1
	英語Ⅱ	2	鹿屋体育大学	2				○		2					非1
	上級英語	3	鹿屋体育大学		2			○		1					
	英語コミュニケーションⅠ	1	鹿屋体育大学	2				○			1				非2
	英語コミュニケーションⅡ	2	鹿屋体育大学	2				○			1				非2
	上級英語コミュニケーション	3	鹿屋体育大学		2			○			1				
	中国語	3	鹿屋体育大学		2			○							非1
	韓国語	3	鹿屋体育大学		2			○							非1
	国語・文章表現法	1	鹿屋体育大学		2				※						講義・演習 非3
	ドイツ語	3	鹿屋体育大学		2			○							非1
	フランス語	3	鹿屋体育大学		2			○							不開講
	留学生のための英語	1	鹿屋体育大学		2			○			1				
	日本語演習Ⅰ	1	鹿屋体育大学		2			○		1					
	日本語演習Ⅱ	2	鹿屋体育大学		2			○		1					
	日本事情	1	鹿屋体育大学		2			○		1					
	現代日本事情	2	鹿屋体育大学		2			○		1					
	各国文化研究	1~4	鹿屋体育大学		2			○							単位互換科目
	小計 (17科目)	—		8	26	0		—		3	1	0	0	0	
社会・文化・自然科目	倫理・哲学	1	鹿屋体育大学		2			○							非1
	人権論	1	鹿屋体育大学		1			○		1					
	ジェンダー論	1	鹿屋体育大学		1			○		1					
	歴史学	2	鹿屋体育大学		1			○		1					
	社会学	2	鹿屋体育大学		1			○		1			1		
	日本国憲法	1	鹿屋体育大学		2			○		1					
	日本文化論	1	鹿屋体育大学		2			○							非1
	異文化理解	3	鹿屋体育大学		2			○		2	2				
	国際関係論	4	鹿屋体育大学		2			○		1					
	生物化学論	1	鹿屋体育大学		2			○			1				
	身体科学論	1	鹿屋体育大学		2			○		7	5	3			
	環境論	1	鹿屋体育大学		2			○			1				
	小計 (12科目)	—		0	20	0		—		11	7	3	1	0	
総合科目	総合演習A	3	鹿屋体育大学		2			○		1					不開講
	総合演習B	2	鹿屋体育大学		2			○							不開講
	総合演習C	3	鹿屋体育大学		2			○							不開講
	総合演習D	2	鹿屋体育大学		2			○		2	3				
	総合演習E	2	鹿屋体育大学		2			○							不開講
	情報処理A	1	鹿屋体育大学		2			○			1				
	情報処理B	2	鹿屋体育大学		2			○			1				
	情報処理C	2	鹿屋体育大学		2			○							不開講
	プレゼンテーション・討論Ⅰ	2	鹿屋体育大学		1			○							非1
	プレゼンテーション・討論Ⅱ	3	鹿屋体育大学		1			○							非1
	交流リベラルアーツ	1~4	鹿屋体育大学		—				※						単位互換科目
	小計 (11科目)	—		0	18	0		—		2	4	0	0	0	

キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅠ	1	鹿屋体育大学	2			※											講義・演習 キャリア形成支援室
	キャリアデザインⅡ	1	鹿屋体育大学	1			※											講義・演習 キャリア形成支援室
	キャリアデザインⅢ	2	鹿屋体育大学	1			※											講義・演習 キャリア形成支援室
	キャリアセミナー	3	鹿屋体育大学	1			※											講義・演習 キャリア形成支援室
	キャリアコミュニケーション	3	鹿屋体育大学	2			※											講義・演習 非1
	企業実習（1週）	2～3	鹿屋体育大学	1						○								キャリア形成支援室
	企業実習（2週）	2～3	鹿屋体育大学	2						○								キャリア形成支援室
	キャリア対策セミナー（教員）	3	鹿屋体育大学	1					○									キャリア形成支援室
	キャリア対策セミナー（一般企業）	3	鹿屋体育大学	1					○									キャリア形成支援室
	キャリア対策セミナー（公務員）	3	鹿屋体育大学	1					○									キャリア形成支援室
	ボランティア活動	1～4	鹿屋体育大学	1						○								非1
小計（11科目）	—		2	12	0		—			0	0	0	0	0	0		教務委員会	
基礎科目 A	解剖生理学	1	鹿屋体育大学	2			○											
	体育・スポーツ哲学と倫理	1	鹿屋体育大学	2			○			2			1					
	体育・スポーツ史	1	鹿屋体育大学	2			○			1								
	健康教育学	1	鹿屋体育大学	2			○			1								
	運動生理学	1	鹿屋体育大学	2			○			2								
	スポーツ栄養学	1	鹿屋体育大学	2			○						1					
	スポーツ社会学	2	鹿屋体育大学	2			○				1							
	スポーツ経営・管理学概論	2	鹿屋体育大学	2			○			1			1					
	生涯スポーツ学概論	2	鹿屋体育大学	2			○			1								
	スポーツ心理学	1	鹿屋体育大学	2			○				1		1					
	バイオメカニクス	2	鹿屋体育大学	2			○			1			1					
	衛生学・公衆衛生学	2	鹿屋体育大学	2			○					1						
	スポーツ医学	3	鹿屋体育大学	2			○			2								
小計（13科目）	—		0	26	0		—		9	3	6	0	0					
基礎科目 B	救急処置論・実習	2	鹿屋体育大学	2			※			3	1							講義・実習
	トレーニング科学概論	2	鹿屋体育大学	2			○			1	1							
	スポーツカウンセリング論	2	鹿屋体育大学	2			○					1						
	運動学概論	2	鹿屋体育大学	1			○			1								
	学校保健	2	鹿屋体育大学	2			○			2								
	スポーツと法	3	鹿屋体育大学	2			○			1								
	コーチ学概論	2	鹿屋体育大学	1			※			1								講義・演習
	障がい者スポーツ論	3	鹿屋体育大学	2			○			1								非1
	武道学概論	1	鹿屋体育大学	2			○			2			1					
小計（9科目）	—		0	16	0		—		8	2	2	0	0					
応用科目	マッサージ・テーピング論・実習	3	鹿屋体育大学	2					※			1						講義・実習
	生涯スポーツ実践論	3	鹿屋体育大学	2			○											非4
	武道史	2	鹿屋体育大学	2			○						1					
	運動生化学	2	鹿屋体育大学	2			○				1							
	アスレチックリハビリテーション論	2	鹿屋体育大学	2			○			1	1							
	アスレチックリハビリテーション実習	3	鹿屋体育大学	1			○				1							
	スポーツ産業論	2	鹿屋体育大学	2			○			1			1					
	スポーツ老年学	2	鹿屋体育大学	2			○											
	スポーツ文化論	2	鹿屋体育大学	2			○											
	スポーツトレーニング実践論	3	鹿屋体育大学	2			※			1			1	1				非1
	体育・スポーツ行政学	3	鹿屋体育大学	2			○								1			講義・演習
	武道文化論	3	鹿屋体育大学	2			○						1					
	身体発育発達論	3	鹿屋体育大学	2			○						1					
	スポーツ戦術実践論	3	鹿屋体育大学	2			○			2	2		3					
社会調査論	3	鹿屋体育大学	2			○							1					

	スポーツ運営論	3	鹿屋体育大学	2		○				1	1				不開講
	体育・スポーツ統計学	3	鹿屋体育大学	2		○									
	スポーツマーケティング論	3	鹿屋体育大学	2		○				1	1				
	運動処方論	3	鹿屋体育大学	2		○				1					
	応用スポーツ心理学	3	鹿屋体育大学	2		○				1	1				
	イベント管理学概論	3	鹿屋体育大学	2		○									
	ヘルスプロモーション論・実習	4	鹿屋体育大学	2				※	3						
	救急法実習	1~4	鹿屋体育大学	1				○							
	小計 (23科目)	—		0	44	0		—	7	7	7	2	0		
実験演習科目	体育学実験Ⅰ (運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学)	1	鹿屋体育大学	2				○	3	3	3				
	体育学実験Ⅱ (運動生理学)	2	鹿屋体育大学	4				○	1		1				
	体育学実験Ⅱ (バイオメカニクス)	2	鹿屋体育大学	4				○	1	1	1				
	体育学実験Ⅱ (スポーツ心理学)	2	鹿屋体育大学	4				○		1	1				
	体育学実験Ⅱ (衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学)	2	鹿屋体育大学	4				○		1	1				
	小計 (5科目)	—		2	16	0		—	3	3	3	0	0		
関連実技科目	陸上・体操・水泳	3	鹿屋体育大学	2				※	2	2	2	2			実技、非1 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技
	バスケットボール	1	鹿屋体育大学	1				※		1	1				
	サッカー	1	鹿屋体育大学	1				※			1	1			
	バレーボール	3	鹿屋体育大学	1				※	1		1				
	テニス	2	鹿屋体育大学	1				※	1			1			
	卓球	3	鹿屋体育大学	1				※	2			1			
	バドミントン	3	鹿屋体育大学	1				※			2				
	ソフトボール	2	鹿屋体育大学	1				※	1		1	1			
	ダンス	3,4	鹿屋体育大学	1				※			1				
	柔道	1	鹿屋体育大学	1				※	1			1			
	剣道	1	鹿屋体育大学	1				※	1	1		1			
	エアロビックダンス	1	鹿屋体育大学	1				※							
	ジョギング&ウォーキング	2	鹿屋体育大学	1				※		2					
	生涯スポーツ・レクリエーション&ゲームズ	1	鹿屋体育大学	1				※			1	1			
	夏季山岳レジャースポーツ実習	2	鹿屋体育大学	1				※			1	1			
	冬季山岳レジャースポーツ実習	2	鹿屋体育大学	1				※	1		1	1			
	海洋スポーツ	2	鹿屋体育大学	1				※		1	1				
	ラグビー	2	鹿屋体育大学	1				※							
	ゴルフ	4	鹿屋体育大学	1				※	1			1			
	なぎなた	2	鹿屋体育大学	1				※							
	相撲	2	鹿屋体育大学	1				※							
	弓道	2,4	鹿屋体育大学	1				※							
野外活動	2	鹿屋体育大学	1				※			1					
体力トレーニング	2	鹿屋体育大学	1				※	1	1	1					
小計 (28科目)	—		0	25	0		—	7	5	8	7	0			
(ゼミナール研究)	ゼミナールⅠ	2	鹿屋体育大学	4				○							
	ゼミナールⅡ	3	鹿屋体育大学	4				○							
	ゼミナールⅢ	4	鹿屋体育大学	4				○							
	卒業研究	4	鹿屋体育大学	6				○							
小計 (4科目)	—		14	4	0		—	0	0	0	0	0			

専修科目	ア ス リ ー ト ・ コ ー チ ン グ 系	競技スポーツ論・実習Ⅰ (陸上競技、水泳、体操競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、テニス、海洋スポーツ、自転車)	1	鹿屋体育大学	6			※	5	4	6	5		講義・実技 非2	
		競技スポーツ論・実習Ⅱ (陸上競技、水泳、体操競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、テニス、海洋スポーツ、自転車)	2	鹿屋体育大学	6			※	5	4	6	5		講義・実技 非2	
		競技スポーツ論・実習Ⅲ (陸上競技、水泳、体操競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、テニス、海洋スポーツ、自転車)	3	鹿屋体育大学	6			※	5	4	6	5		講義・実技 非2	
		競技スポーツ論・実習Ⅳ (陸上競技、水泳、体操競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、テニス、海洋スポーツ、自転車)	4	鹿屋体育大学	6			※	5	4	6	5		講義・実技 非2	
		小計(4科目)	—		0	24	0	—		5	4	6	5	0	
生涯スポーツ系	レジャー・レクリエーション論	2	鹿屋体育大学	2			○				1	1			
	施設・用具・プログラム論	2	鹿屋体育大学	2			○			1					
	生涯スポーツ論・演習Ⅰ (コミュニティ・スポーツ、健康体力、野外教育)	3	鹿屋体育大学	2			※		2	2	1			講義・演習	
	生涯スポーツ論・演習Ⅱ (コミュニティ・スポーツ、健康体力、野外教育)	3	鹿屋体育大学	2			※		2	2	1			講義・演習	
	小計(4科目)	—		0	8	0	—		2	3	1	1	0		
武道系	専修武道論・実習Ⅰ (柔道、剣道)	1	鹿屋体育大学	6				※	2	1		1		講義・実技	
	専修武道論・実習Ⅱ (柔道、剣道)	2	鹿屋体育大学	6				※	2	1		1		講義・実技	
	専修武道論・実習Ⅲ (柔道・剣道)	3	鹿屋体育大学	6				※	2	1		1		講義・実技	
	専修武道論・実習Ⅳ (柔道・剣道)	4	鹿屋体育大学	6				※	2	1		1		講義・実技	
	小計(4科目)	—		18	6	0	—		2	1	0	1	0		
指導実践科目	スポーツ指導実践概論	1	鹿屋体育大学	1			○		5	2	2				
	スポーツ指導実習 (スポーツコーチ実習)	3	鹿屋体育大学	1~2				○						スポーツ指導実習 小委員会	
	スポーツ指導実習 (生涯スポーツ指導実習)	3	鹿屋体育大学	2				○						スポーツ指導実習 小委員会	
	スポーツ指導実習 (武道指導実習)	3	鹿屋体育大学	1~2				○						スポーツ指導実習 小委員会	
	S COOP実習	3~4	鹿屋体育大学	4				○		1	1				
小計(5科目)	—		2	8	0	—		5	3	2	0	0			
教職科目	教職	教師論	1	鹿屋体育大学	2			○							非1
		教育心理学	2	鹿屋体育大学	2			○		1					
		特別支援教育	2	鹿屋体育大学	1			○							不開講
		道徳の理論と指導法 (道徳教育の研究)	2	鹿屋体育大学	2			○							非1
		総合的な学習の時間の指導法	2	鹿屋体育大学	1			○							不開講
		特別活動論	2	鹿屋体育大学	1			○		1	1				非1
		教育方法・技術	2	鹿屋体育大学	2			○				1			非1
		学校と教育の歴史 (教育史)	3	鹿屋体育大学	2			○							非1
		教育法・教育行政	3	鹿屋体育大学	2			○		1					
教育課程論	3	鹿屋体育大学	1			○			1					非1	

	生徒・進路指導論 (生徒指導論)	3	鹿屋体育大学	2		○					1			非1
	教育相談・カウンセリング論	3	鹿屋体育大学	2		○			1	1				非1
	介護等体験	3	鹿屋体育大学	1				○						介護等体験 小委員会
	小計 (13科目)	—		0	21	0	—		1	2	3	0	0	
専 門	保健体育科教育法Ⅰ	2	鹿屋体育大学	2		○				1	1			非1
	保健体育科教育法Ⅱ	2	鹿屋体育大学	2		○				1	1			非1
	保健体育科教育法Ⅲ	3	鹿屋体育大学	2		※				1	1			講義・演習 非1
	保健体育科教育法Ⅳ	3	鹿屋体育大学	2		※				1	1			講義・演習 非1
	教育実習Ⅰ	4	鹿屋体育大学	5				○		1	1			非1
	教育実習Ⅱ	4	鹿屋体育大学	4				○		1	1			非1
	教職実践演習 (中・高)	4	鹿屋体育大学	2				○						教職教育等 小委員会
	小計 (7科目)	—		0	19	0	—		0	1	1	0	0	
合計 (175科目)		—		46~ 47	293	0	—		65	46	42	17	0	

学位又は称号		学士 (体育学)		学位又は学科の分野		体育関係																																																											
卒業要件及び履修方法				開設大学	開設単位数 (必修)	授業期間等																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">授業科目の区分</th> <th colspan="2">区分ごとの最低修得単位数</th> <th rowspan="2">左記以外に修得しなければならない単位数</th> <th rowspan="2">卒業所要単位数</th> </tr> <tr> <th>スポーツ総合課程</th> <th>武道課程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">一般科目</td> <td>コミュニケーション科目</td> <td>10</td> <td rowspan="3">12</td> <td rowspan="3">38</td> </tr> <tr> <td>社会・文化・自然科目</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>総合科目</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>キャリア形成科目</td> <td>キャリアアデザイン科目</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">専門科目</td> <td>基礎科目A</td> <td>14</td> <td rowspan="6">アスリート・コーチング系</td> <td rowspan="6">86</td> </tr> <tr> <td>基礎科目B</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>応用科目</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>実験演習科目</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>関連実技科目</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>ゼミナール (卒業研究)</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">専攻科目</td> <td rowspan="3">専修科目</td> <td>アスリート・コーチング系</td> <td>18</td> <td rowspan="3">武道系 7又は8</td> </tr> <tr> <td>生涯スポーツ系</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>武道系</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">指導実践科目</td> <td>アスリート・コーチング系</td> <td>2又は3</td> <td rowspan="3">生涯スポーツ系 19</td> </tr> <tr> <td>生涯スポーツ系</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>武道系</td> <td>2又は3</td> </tr> <tr> <td>教職科目</td> <td>教職</td> <td colspan="3">「教職」科目で修得した単位数は、一般科目及びキャリア形成科目の卒業所要単位数として6単位まで、「専門」科目の一部の科目で修得した単位数は、専門科目及び専攻科目の卒業所要単位数として4単位まで認めることができます。</td> </tr> </tbody> </table>				授業科目の区分	区分ごとの最低修得単位数		左記以外に修得しなければならない単位数	卒業所要単位数	スポーツ総合課程	武道課程	一般科目	コミュニケーション科目	10	12	38	社会・文化・自然科目	8	総合科目	4	キャリア形成科目	キャリアアデザイン科目	4			専門科目	基礎科目A	14	アスリート・コーチング系	86	基礎科目B	10	応用科目	10	実験演習科目	2	関連実技科目	8	ゼミナール (卒業研究)	14	専攻科目	専修科目	アスリート・コーチング系	18	武道系 7又は8	生涯スポーツ系	6	武道系	18	指導実践科目	アスリート・コーチング系	2又は3	生涯スポーツ系 19	生涯スポーツ系	3	武道系	2又は3	教職科目	教職	「教職」科目で修得した単位数は、一般科目及びキャリア形成科目の卒業所要単位数として6単位まで、「専門」科目の一部の科目で修得した単位数は、専門科目及び専攻科目の卒業所要単位数として4単位まで認めることができます。			鹿屋体育大学	340 (46~47)	1学年の学期区分	2期
授業科目の区分	区分ごとの最低修得単位数		左記以外に修得しなければならない単位数		卒業所要単位数																																																												
	スポーツ総合課程	武道課程																																																															
一般科目	コミュニケーション科目	10	12	38																																																													
	社会・文化・自然科目	8																																																															
	総合科目	4																																																															
キャリア形成科目	キャリアアデザイン科目	4																																																															
専門科目	基礎科目A	14	アスリート・コーチング系	86																																																													
	基礎科目B	10																																																															
	応用科目	10																																																															
	実験演習科目	2																																																															
	関連実技科目	8																																																															
	ゼミナール (卒業研究)	14																																																															
専攻科目	専修科目	アスリート・コーチング系	18	武道系 7又は8																																																													
		生涯スポーツ系	6																																																														
		武道系	18																																																														
	指導実践科目	アスリート・コーチング系	2又は3	生涯スポーツ系 19																																																													
		生涯スポーツ系	3																																																														
		武道系	2又は3																																																														
教職科目	教職	「教職」科目で修得した単位数は、一般科目及びキャリア形成科目の卒業所要単位数として6単位まで、「専門」科目の一部の科目で修得した単位数は、専門科目及び専攻科目の卒業所要単位数として4単位まで認めることができます。																																																															
						1学期の授業期間	15週																																																										
						1時限の授業時間	90分																																																										

(注)

- 1 共同学科等を設置する場合は、別記様式第2号 (その2の1) に代えて、この書類を作成すること。
- 2 共同学科等を設置する場合は、この書類に加え、別記様式第2号 (その2の1) の例により、構成大学別のものを作成すること。
- 3 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
- 4 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 5 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

授業科目の概要（共同学科等）

（体育学研究科 スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程））

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	筑波大学・鹿屋体育大学	International Development and Peace through Sport I（スポーツ国際開発論I）	<p>スポーツ国際開発学の理論と実践を概観し、国際的・社会的・文化的な課題解決に向けたスポーツによる取り組みを学ぶ。講義では特に、開発問題に焦点をあて、地球規模の問題と持続可能で平和な社会を築くためのスポーツの利用について議論を行う。</p> <p>（オムニバス方式／全10回）</p> <p>（9 山口拓／1回）スポーツを通じた国際開発に関する理論と実践の概要について （7 北村尚浩／1回）スポーツ産業とその発展について （8 萩原悟一／1回）スポーツ組織におけるリーダーシップについて。マネジメントのその展開 （9 山口拓／1回）スポーツを通じた国際開発と青少年の育成に関する議論 （9 山口拓／1回）スポーツを通じた国際開発と女性に関する議論 （9 山口拓／1回）スポーツを通じた国際開発と障害者についての議論 （9 山口拓／1回）スポーツを通じた国際開発と平和についての議論 （9 山口拓／1回）スポーツを通じた国際開発と健康についての議論 （9 山口拓／1回）スポーツを通じた国際開発と社会的弱者についての議論 （9 山口拓／1回）スポーツを通じた国際開発における課題についての議論</p>	オムニバス方式メディア
	鹿屋体育大学	Olympic Movement Studies（オリンピックムーブメント論）	<p>オリンピック・ムーブメントの変遷およびオリンピック・ムーブメントの中身について概観し、今後のオリンピック・ムーブメントについて展望する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリンピックムーブメントとは？ 2. オリンピックムーブメントの歴史 3. 東京2020とオリンピックムーブメント 4. パラリンピックムーブメント 5. スポーツを通じた国際交流 6. 日本の伝統スポーツ 7. スポーツ指導における子ども保護 8. スポーツ指導における子ども保護 9. オリンピックムーブメントと教育 10. 今後のオリンピックムーブメント 	メディア
	筑波大学・鹿屋体育大学	Diffusion of Japanese Culture（日本文化伝播論）	<p>前半においては、武道のような伝統的日本文化に関する知識、その伝播に付随する諸課題について学ぶ。加えて、伝統的日本文化が諸外国においてどのように捉えられているのか、また、日本人が自国の伝統文化をどのように海外に発信してきたのかなどについても学ぶ。</p> <p>後半においては、学生自身が伝統的日本文化について英語で説明することを通して、日本文化の伝統についての理解を一層深めるとともに、それに関する英語表現の拡充を目指す。</p>	メディア

筑波大学	Sport, Culture and Society (スポーツ・文化・社会)	<p>スポーツ社会学における理論と実践的研究を基礎にして、スポーツを通じた国際開発と平和構築に関する批判的思考をする。</p> <p>授業計画：(1) 文化的パフォーマンスと記号的意味、(2) ロサンゼルス1984オリンピックにおける変容、(3) 消費社会におけるスポーツイベントの意味、(4) 1964東京オリンピックと都市開発、(5) オリンピック会場建設の歴史的意味、(6) 2020東京オリンピックと都市開発、(7) 1968メキシコオリンピックにおける人種差別撤廃運動、(8) フットボールにおける暴力の諸問題、(9) 日本における女性アスリートの歴史とその意味、(10) スポーツによる開発と平和</p>	メディア
鹿屋体育大学	Sport Promotion (スポーツプロモーション論)	<p>スポーツプロモーションの政策と成果に、国際的動向を学び、そこでの課題について考究する。</p> <p>第1回 テーマの選択 第2回 スポーツプロモーション政策の現状 第3回 スポーツプロモーションの方法論 第4回 地域スポーツクラブによるプロモーションの世界的動向 第5回 日本の伝統スポーツのグローバル化 第6-7回 各ライフステージ別スポーツプロモーションについて学生が選んだテーマのグループディスカッション 第8回 テスト</p>	集中メディア
筑波大学	International Sport Policy Studies (国際スポーツ政策研究)	<p>国際スポーツ政策の理論と実践の概要を提供する。英国やヨーロッパの例を用いながら、国際スポーツ政策の現状と課題そして今後の可能性について学ぶ。</p> <p>授業計画：(1) 比較研究法と概念、(2) 実在的評価、(3) レガシーのメタ評価、(4) ロンドン2012オリンピックレガシーの分析、(5) 東京2020オリンピックレガシー、(6) エリートスポーツ政策評価、(7) 日本におけるエリートスポーツ政策の分析、(8) 国際スポーツリーダーシップにおけるジェンダー平等、(9) WADAにみるアンチ・ドーピング運動政策、(10) アスリート権利とデュアルキャリア</p>	集中メディア
鹿屋体育大学	Sport Management (スポーツマネジメント論)	<p>スポーツ産業について文献、資料などを用いて世界的市場の動向、経営体の組織、運営などに関する考察を通じて、スポーツ産業のあり方について考究する。</p> <p>第1回 スポーツマネジメントの導入 (8 萩原悟一) 第2回 大学スポーツマネジメント (8 萩原悟一) 第3回 プロスポーツのマネジメント (8 萩原悟一) 第4回 スポーツ参加に関するマネジメント (8 萩原悟一) 第5回 スポーツマーケティング：スポンサーシップ (14 隅野美砂輝) 第6回 スポーツマーケティング：マーケットリサーチ (14 隅野美砂輝) 第7回 マーケティングプロモーション (14 隅野美砂輝) 第8回 プレゼンテーション (14 隅野美砂輝)</p>	メディア
筑波大学	Sport and Person with Disabilities (PWDs) (スポーツと障がい者)	<p>講義では、学生は障害者のスポーツについて学ぶ。その際に、パラリンピックやパラリンピック以外の世界大会、また障害(身体障害、知的障害、精神障害)の特性など、講義内で議論が可能と思われる事例なども提示していく。</p> <p>授業計画：(1) Sport for Allと障害者スポーツの概要、(2) パラリンピックに関する理解を深める、(3) 身体障害、知的障害、精神障害とスポーツについて、(4) 障害者スポーツに関する日英比較、(5) パラリンピックムーブメントにおける競技、(6) 各国における障害者スポーツに関する学生によるプレゼンテーションと議論。</p>	メディア

	鹿屋体育大学	Health Promotion (ヘルスプロモーション論)	<p>寿命の延伸とともに長期にわたって自立した生活を営むことは重要なことといえます。本コースでは、学生は「活力ある老いと身体活動および運動の役割」について学びます。</p> <p>第1回:高齢者における自立のために必要な体力について 第2回:高齢者における身体運動時の安全性について 第3回:高齢者の運動療法について 第4回:途上国における健康社会的な課題について 第5回:運動(身体活動量)に対する急性および慢性的適応 第6回:健康と疾病に対する身体活動量の効果 第7回:動身体活動に対する理解とプロモーション 第8回:試験2(レポート)</p>	集中メディア
	筑波大学	Advanced Coach Education (上級コーチ教育論)	<p>トレーニング方法、情報戦略、国際的な動向などの面から、コーチ教育について考える。</p> <p>授業計画: (1) コーチングとフィジカルリテラシー、(2) メンタルトレーニングの意義・事例、(3) スポーツ・コーチングの国際枠組み、(4) アンチ・ドーピングの考え方、(5) トレーニング・コンディショニングの意義・事例・研究動向、(6) 我が国のスポーツシステムの現状と展望・情報戦略、(7) 日本のトップスポーツの競技力向上の取組と課題、(8) Long Term Athlete Development モデル等に対する考え方、(9) メンタルトレーニングに関する最新の研究動向、(10) コーチングにおける TGfU 理論の活用</p>	メディア
	筑波大学・鹿屋体育大学	Research Methods (研究方法論)	<p>スポーツを通じた国際開発と平和構築に関わる研究の基礎となる方法論の理論について、事例を踏まえながら学修する。</p> <p>(オムニバス方式/全10回)</p> <p>(1 清水論/3回) スポーツを通じた国際開発に関する研究の基礎的態度について (3 山田理恵/1回) 歴史人文的研究手法について (17 金森サヤ子/3回) 疫学的研究手法について (1 清水論/1回) 文化人類学的観点からの研究手法について (7 北村尚浩/1回) 社会学的観点からの研究手法について (9 山口拓/1回) 社会調査法について</p>	オムニバス方式メディア
	筑波大学	Cross cultural studies in physical sport education(比較体育科教育論)	<p>比較体育科教育論では、海外の体育・スポーツの歴史、研究、文化を学ぶと共に、グローバルな視点と研究課題を探求することを目的とする。受講終了時における学習目標を5項目示す。1) 体育の専門用語と背景 2) 実践専門研究と理論を用いたデータ研究の英語表現の違い 3) 量的、質的、行動分析研究の動向と課題 4) 社会現象がもたらす海外の体育事情 5) 国際体育・スポーツ研究ジャーナルの論文執筆に関する要点 で構成されている。講義はすべて英語で行い、読解力、文章作成、研究方法論の内容が組み込まれる。更に、国際体育系ジャーナル執筆に用いられる3種類(American Psychological Association スタイル, Harvardスタイル, Chicago スタイル) の参考文献フォーマット演習も取り入れることにより、国際的な体育・スポーツ研究に精通した人材を育成する。</p>	メディア
講義・応用	筑波大学	International Development and Peace through Sport II (スポーツ国際開発論II)	<p>このコースでは、「スポーツ国際開発学」の観点に基づく、文化的、社会的、国際的な問題解決の見解をスポーツイベントやに関する批判的思考法について学ぶ。特にIDS研究により集中した内容を取り扱う。</p> <p>(オムニバス方式/全10回) (9 山口拓/1回) スポーツ国際開発に関する批判的観点からの分析</p>	オムニバス方式メディア

		<p>(9 山口拓/1回) スポーツを通じた開発と健康問題及び公衆衛生 (1 清水論/1回) スポーツを通じた開発とマイノリティ (9 山口拓/1回) ここまでの内容についてのポジティブ・ネガティブ双方の観点からの議論 (10 大石純子/1回) 武道をと通じた国際開発 (9 山口拓/1回) QPEとスポーツ国際開発 (5 松元剛/1回) スポーツ国際開発とスポーツイベント (9 山口拓/1回) スポーツを通じた紛争解決 (9 山口拓/2回) スポーツによる外交</p>	
筑波大学	Management and Organization (経営マネジメント論)	<p>スポーツ国際開発学の理論と実践を概観し、国際的・社会的・文化的な課題解決に向けたスポーツによる取り組みを学ぶ。本講義では、特に開発課題に焦点化して、諸課題の特性と持続可能な平和的社会の実現に向けたスポーツの役割に関して討論形式で学ぶ。 授業計画：(1) 地球化とスポーツ、(2) IDS の位置づけ、(3) グループ議論・討論 (1~2回を踏まえ、当該領域の発展経緯を話し合う)、(4) NGOsとIDS、(5) IDS マネジメント、(6) グループ議論・討論 (4~5回を踏まえ、当該領域の運営形態を話し合う)、(7) 古典的マネジメント、(8) 人財育成マネジメント、(9) 偶発性マネジメント、(10) グループ議論・討論 (7~9回を踏まえ、各手法の優位性や課題を話し合う)、(11) 課題レポート・発表</p>	集中メディア
筑波大学	Project Management (プロジェクトマネジメント論)	<p>開発援助実務者をサポートするために国際機関によって開発された実用的基礎技術としてのプロジェクト・マネジメント手法について学習する。主に参加型計画、モニタリング、評価を含むProject Cycle Management (PCM) を採り上げる。 授業計画：(1) 国際協力におけるPCM、(2) プロジェクトの PDCA サイクル、(3) PCM手法の全体像、(4) 理論分析と課題分析、(5) 課題分析演習、(6) 定式化されたPDM理論、(7) PDM の実際的演習、(8) プロジェクト評価の全体像、(9) プロジェクト評価演習、(10) 課題のプレゼンテーション</p>	集中メディア
筑波大学	Research Project Management (研究プロジェクトマネジメント)	<p>研究プロジェクトの計画、内容の構築や詳細の進め方など研究プロジェクトの実行方法について学ぶ。 授業計画：(1) 研究プロジェクトに関する理論と実際の概要、(2) 研究課題の選択とアウトラインの作り方、(3) アウトラインの発表と学生間のディスカッション、(4) アウトラインに対する学術的観点からの指導及びコメント、(5) アブストラクトの作り方、研究動機、課題の設定、研究の意義、目的、研究仮説、研究方法と全体の流れについて、(6) アブストラクトに関する学術的指導と議論、(7) 各自の研究プロジェクトの発表と最終ディスカッション</p>	メディア
筑波大学	Research Project Management 【Practical】 (研究プロジェクトマネジメント (実践))	<p>研究プロジェクトの計画、内容の構築や詳細の進め方などの基礎理論に基づいて研究プロジェクトを実践実行する力を養う。 授業計画：(1) 研究プロジェクトの実施に関する一般的な手法と観点 (研究動機、タイムマネジメント力、指導教員との関係、批判的分析力、俯瞰的観点など)、(2) 修士論文レベルの研究の実際、研究方法、研究の進め方、問題設定の仕方、ホットトピックについて、(3) 研究プロジェクトを進めるにあたってのチェックリストについて、研究計画の準備、倫理的配慮と倫理委員会の許諾について、(4) 修士論文完成に向けての実際的な段階について、(5) 修士論文研究計画の発表と検討</p>	メディア

講義・関連	筑波大学 Principles of Development (開発学原論)	異なる学問領域を持つ学生を考慮し、開発学の基本的概念と理論、国際的潮流について紹介する。また、国内外共通の開発課題や開発政策の理解を深めることを目指す。開発理論、人間開発、貧困と格差、そしてグローバル化と開発に焦点を当てる。急速にグローバル化している世界における、現在の開発課題と機会の理論基盤と実証的分析を比較する。授業のキーワード：開発理論、開発政策、経済成長、貧困と不平等、人間開発、グローバリゼーション	メディア
	筑波大学 Public Policy for Social Development IA (社会開発のための公共政策IA)	この講義の主な目標は、公共政策と政策決定における主要な理論の流れを学生に紹介することである。公共政策の基本的な目標は問題解決であり、それはまた授業の主な目的となる。授業を通して一緒に、この目標がどのように達成されるかを探っていく。我々は、関連する政策主体と制度、政策のニーズと制約、そして結局のところ、なぜいくつかの公共政策が成功し、他が失敗するのかを特定していくことになる。	隔年 メディア
	筑波大学 Public Policy for Social Development IB (社会開発のための公共政策IB)	この講義の主な目標は、公共政策と政策決定における主要な理論の流れの習得を踏まえて、政策と政治分析を組み合わせた公共政策研究へのアプローチを探ることである。公共政策の基本的な目標は問題解決である。授業を通して一緒に、この目標がどのように達成されるかを探っていく。我々は、関連する政策主体と制度、政策のニーズと制約、そして結局のところ、なぜいくつかの公共政策が成功し、他が失敗するのかを特定していくことになる。	隔年 メディア
	筑波大学 Public Policy for Social Development IIA (社会開発のための公共政策IIA)	本講義では、公共政策と政策決定における主要な理論潮流の概説について学んでいく。公共政策の本質的な目標は問題解決であるが、その方途を探るとともに、この目標がどのように達成されるかを分析する。また、公共政策に関連する政策アクターや制度、政策の必要性や制約を考察しつつ、なぜある公共政策が成功し、他の公共政策が失敗するのかも議論する。	隔年 メディア
	筑波大学 Public Policy for Social Development IIB (社会開発のための公共政策IIB)	本講義では、概説された公共政策と政策決定における主要な理論潮流を踏まえて、政策と政治分析を組み合わせた公共政策研究のアプローチを考察する。公共政策の本質的な目標は問題解決であるが、その方途を探るとともに、この目標がどのように達成されるかを分析する。また、公共政策に関連する政策アクターや制度、政策の必要性や制約を考察しつつ、なぜある公共政策が成功し、他の公共政策が失敗するのかも議論する。	隔年 メディア
	筑波大学 Multicultural Coexistence (多文化共生論)	スポーツと平和の理論と実践を概観し、課題解決や多文化共生に向けたスポーツによる取り組みを学ぶ。本講義では、特に平和課題に焦点化して、諸課題の特性と持続可能な平和理解の実現に向けたスポーツの役割に関して討論形式で学ぶ。 授業計画：(1) スポーツと平和に関する理論研究について、(2) 異文化共生研究について、(3) グループディスカッション、(4) 課題研究の成果発表とディスカッション。	集中 メディア
	筑波大学 International Politics IA (国際政治学IA)	この講義の主な目的は、一般社会、特に日本と東南アジアの情報社会に関する問題と課題の概要を学生に提供することである。具体的には、国際的な政治体制について、国際社会情勢について、日本と他国におけるメディア構造の比較などについて、とりあげていく。基本的な授業の進め方は、教員による講義の他、学生が2-3の関連する学術論文を読んでプレゼンや議論をするなどである。	隔年 メディア

	筑波大学	International Politics IB (国際政治学IB)	この講義の主な目的は、一般社会、特に日本と東南アジアの情報社会に関する問題と課題の概要を学生に提供することである。具体的に取り上げる内容としては、日本と他国におけるインターネットの歴史、インターネット上におけるポリティカルコミュニケーションについて、E-government、ビッグデータと社会について、などについてである。授業は、教員による講義の他、学生による関連学術論文のプレゼン、ディスカッションなどによってすすめられる。	隔年 メディア
	筑波大学	International Politics IIA (国際政治学IIA)	この講義では、世界の情報社会に関する問題、一般社会、特に日本と東南アジアの情報社会に関する問題と課題の概要を学生に提供していく。具体的なトピックとしては、国際的な政治体制に関する内容、国際社会情勢に関する内容、日本と他国におけるメディア構造の比較について、などである。基本的な授業の進め方は、教員による講義の他、学生が2-3の関連する学術論文を読んでプレゼンや議論をするなどである。	隔年 メディア
	筑波大学	International Politics IIB (国際政治学IIB)	この講義では、一般社会、特に日本と東南アジアの情報社会に関する問題と課題の概要を学生に提供することである。具体的には、日本と他国におけるインターネットの歴史、インターネット上におけるポリティカルコミュニケーションについて、E-government、ビッグデータと社会について、などについて取り上げる。授業は、教員による講義の他、学生によるプレゼン、相互のディスカッションなどによる。	隔年 メディア
	筑波大学	Economics of Development in Asia I (アジアにおける開発経済学I)	本講義は、アジア経済特に東南アジア経済の発展構造の概要を学習することを目的とする。アジアは多数の低所得国やいくつかの発達した経済という多様性を含んでおり、経済分野において、開発課題と地域統合という2つ課題が顕著である。そこで、開発経済学（アジア）は、アジア地域における経済開発実績と課題に焦点を当てる。 授業計画：(1)多様性と共通性、(2)発展と経済の多様性、(3)貧困と不平等、(4)農業と地域開発、(5)人口変動	隔年 メディア
	筑波大学	Economics of Development in Asia II (アジアにおける開発経済学II)	本講義は、アジア経済特に東南アジア経済の発展構造の具体的な内容に触れながら学習することを目的とする。アジアは多数の低所得国やいくつかの発達した経済という多様性を含んでおり、経済分野において、開発課題と地域統合という2つ課題が顕著である。そこで、開発経済学（アジア）は、アジア地域における経済開発実績と課題に焦点を当てる。 授業計画：(1)教育、(2)移民、(3)国際貿易、(4)海外直接投資、(5)グローバリゼーションと貧困改善	隔年 メディア
演習・学内	鹿屋体育大学・筑波大学	IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習)	学生は、論文（特定課題レポート）を書くために、下記5つの課題領域と指導教員を選出し、社会課題を解決するIDSの手法、戦略、評価法等に関する調査・研究を行う。 課題領域:スポーツを通じた開発と平和 (Development and Peace thorough Sport)、スポーツを通じた教育・青少年育成 (Education and Youth Development through Sport)、スポーツとジェンダー・人種・民族 (Sport and Gender, Race, Ethnicity)、健康と環境 (Health and Environment)、アダプテッド・高齢者のスポーツ (Aged and Adapted Sport)	メディア

鹿屋体育大学・筑波大学	Research Project (課題研究)	<p>研究テーマを設定し、実践的課題に対して、先行研究を踏まえて、修士論文または課題レポートを作成するにあたって、それぞれの指導教官の下で個別指導を受ける。</p> <p>(1 清水諭) スポーツ社会学、身体論、スポーツ文化に関する研究指導を行う。 (2 佐藤貴弘) 比較体育科教育に関する研究指導を行う。 (3 山田理恵) 歴史的、文化人類学的アプローチから、スポーツを通じた地域開発に関する研究指導を行う。 (4 森克己) スポーツと法に関する研究指導を行う。 (5 松元剛) コーチング、フラッグフットボール、戦術的知識、大学スポーツに関する研究指導を行う。 (10 大石純子) 武道論、武道史、武道の海外普及、武道と女性に関する研究指導を行う。 (7 北村尚浩) 体育・スポーツ社会学、青少年に関する研究指導を行う。 (9 山口拓) 開発人類学と青少年スポーツ、カンボジアにおける体育科教育に関する研究指導補助を行う。 (6 イスラム・モハモド・ムニル) 高齢者の健康づくり及び途上国対先進国の中高齢者の機能的体力の評価に関する研究に関する研究指導を行う。 (8 萩原悟一) スポーツマネジメント、スポーツマーケティングに関する研究指導を行う。</p>	メディア
演習・学外	筑波大学 JSC Seminar (JSCセミナー)	<p>日本スポーツ振興センターが開催する研修およびセミナーに参加し、レポート作成やその他の業務を通じて学習する。事前準備として、学生は自身の学術的興味や目的に従って参加するセミナーを選択する。セミナーは1日から数日間のものまで多様であるので、各自の都合に合わせて途中でリタイアすることが無いように準備する。セミナーの具体例として、国際スポーツイベントのレガシーに関するもの、ソーシャルメディアの利用に関するもの、スポーツライフに関するものなどがある。事後には、所定の手順に従って報告書をまとめて指導をうける。</p>	集中
筑波大学	JSC Project (JSCプロジェクト)	<p>日本スポーツ振興センターで展開されている事業プロジェクトに参加し、事業運営、マネジメントの実践について学ぶ。事前準備として、提示されたプロジェクトリストの中から、学生自身の興味関心に従ってプロジェクトを選択し、所定の申請手続きと諸指導を受ける。実習期間中は、プロジェクトの推進を実践的に経験学習する。プロジェクトの例としては、国際的なイベント入札に関するもの、政策情報の収集と分析に関するもの、国内におけるスポーツタレントの発掘と開発、選手育成、コーチング、スポーツインテグリティプロジェクトなどがある。事後指導としては、経験学習を振りかえってレポートにまとめる。</p>	集中
筑波大学	Seminar in Universities Abroad (国外大学セミナー)	<p>自分の研究テーマに沿って、興味関心のある分野について、海外の大学における教員及び学生とコミュニケーションをとり、授業に積極的に参加して、研究能力を深める。事前に、興味関心のある分野の明確化、その分野を得意とする大学の選定、先方との連絡連携について、指導教員と十分な連携を取りながら準備する。海外での安全留意や先方の受け入れ先を明確にしたうえで、渡航し、所定のセミナーや授業などに参加する。事後には、報告書をまとめて提出すると同時に、先方への令状や今後の人脈の確保に努める。</p>	集中

	筑波大学	International Conference and Seminar (国際カンファレンス・セミナー)	国際カンファレンスや国際研究セミナーで発表を行うなどして議論を深め、また自己の研究テーマに沿って資料収集を行い、研究能力を高める。事前に、参加するカンファレンスでの発表内容について、指導教員と十分な連携を取りながら研究を深め、発表内容を煮詰める。発表するための所定の申請手続きも行う。カンファレンスに参加したら、しっかり発表するとともに、参加者と議論を深め、研究に対する視野を広げ、人脈を広げる。事後には、指摘された課題や今後の研究課題について整理するとともに、報告書をまとめて提出する。	集中
	筑波大学	NGO Activities (NGO等プロジェクト)	NPOやNGOの活動の実践に触れ、課題発見や課題解決に向けた計画・活動・評価等に関する取り組みを学ぶ。本実習では、特に経験知の獲得を目標に、各組織が取り組む諸課題の特性と課題解決に向けた方略を実体験を通じて学ぶ。事前準備として、世界各地で多様な活動を実施しているNPOやNGOに関する情報を収集し、参加する組織の焦点を絞る。指導教員と十分な連携を取りながら、組織と連絡を取り、活動参加への承諾を得る。実際の参加にあたっては、安全への配慮、健康面での留意事項に注意して渡航し、活動に参加する。現地では、その地の風習や慣習を尊重しつつ、安全に配慮して活動実態を肌を通して学ぶ。事後には、学んだ経験を報告書にまとめるとともに、活動における課題などについても整理して報告する。	集中
実践・母国	筑波大学	On the Job Practice (Domestic)	日本スポーツ振興センターなどのスポーツおよび国際開発に関連する組織において4週間(1日7時間×4週間)の研修を行う。事前に、指導教員、受け入れ先組織と十分な連絡相談を重ねたのち、受け入れの承諾をえること。許可が下りたら詳細な実習計画書を作成し指導教員の署名捺印を得たのち提出する。実習生調書、保険への加入などの手続きも進めること。実習中は無報酬を原則とし、受け入れ組織の規則や慣習に従って、真摯に実習に努める必要がある。実習中は実習記録を作成する。実習後は、実習記録と実習報告書を所定の手続きを踏まえて提出するとともに、実習先指導者による評価を受け、評価表を大学に提出すること。	集中
実践・海外	鹿屋体育大学・筑波大学	On the Job Practice (International)	Local- International NGOの実践に触れ、課題発見や課題解決に向けた計画・活動・評価等に関する取り組みを学ぶ。本実習では、特に経験知の獲得を目標に、各組織が取り組む諸課題の特性と課題解決に向けた方略を実体験を通じて学ぶ。現地-/国際NGO、機関等やJICA等のインターン/ボランティア・スタッフとして、4カ月(16週間)程度の活動に従事する中で課題の本質を学ぶ。 「現地-/国際NGO、機関等の実際を知ることで、市民社会組織の役割と限界を学び、実際的な取り組みから理論と実際の異なりを把握できるようになる。」	集中

(注)

- 1 共同学科等を設置する場合は、別記様式第2号(その3の1)に代えて、この書類を作成すること。
- 2 共同学科等を設置する場合は、この書類に加え、別記様式第2号(その3の1)の例により、構成大学別のものを作成すること。
- 3 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 4 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

授 業 科 目 の 概 要			
(体育学研究科 スポーツ国際開発学共同専攻(修士課程))			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	International Development and Peace through Sport I (スポーツ国際開発論I)	<p>スポーツ国際開発学の理論と実践を概観し、国際的・社会的・文化的な課題解決に向けたスポーツによる取り組みを学ぶ。講義では特に、開発問題に焦点をあて、地球規模の問題と持続可能で平和な社会を築くためのスポーツの利用について議論を行う。</p> <p>(オムニバス方式/全10回)</p> <p>(9 山口拓/1回) スポーツを通じた国際開発に関する理論と実践の概要について</p> <p>(7 北村尚浩/1回) スポーツ産業とその発展について</p> <p>(8 萩原悟一/1回) スポーツ組織におけるリーダーシップについて。マネジメントのその展開</p> <p>(9 山口拓/1回) スポーツを通じた国際開発と青少年の育成に関する議論</p> <p>(9 山口拓/1回) スポーツを通じた国際開発と女性に関する議論</p> <p>(9 山口拓/1回) スポーツを通じた国際開発と障害者についての議論</p> <p>(9 山口拓/1回) スポーツを通じた国際開発と平和についての議論</p> <p>(9 山口拓/1回) スポーツを通じた国際開発と健康についての議論</p> <p>(9 山口拓/1回) スポーツを通じた国際開発と社会的弱者についての議論</p> <p>(9 山口拓/1回) スポーツを通じた国際開発における課題についての議論</p>	オムニバス方式 メディア
	Olympic Movement Studies (オリンピックムーブメント論)	<p>オリンピック・ムーブメントの変遷およびオリンピック・ムーブメントの中身について概観し、今後のオリンピック・ムーブメントについて展望する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリンピックムーブメントとは? 2. オリンピックムーブメントの歴史 3. 東京2020とオリンピックムーブメント 4. パラリンピックムーブメント 5. スポーツを通じた国際交流 6. 日本の伝統スポーツ 7. スポーツ指導における子ども保護 8. スポーツ指導における子ども保護 9. オリンピックムーブメントと教育 10. 今後のオリンピックムーブメント 	メディア
	Diffusion of Japanese Culture (日本文化伝播論)	<p>前半においては、武道のような伝統的日本文化に関する知識、その伝播に付随する諸課題について学ぶ。加えて、伝統的日本文化が諸外国においてどのように捉えられているのか、また、日本人が自国の伝統文化をどのように海外に発信してきたのかなどについても学ぶ。</p> <p>後半においては、学生自身が伝統的日本文化について英語で説明することを通して、日本文化の伝統についての理解を一層深めるとともに、それに關する英語表現の拡充を目指す。</p>	メディア
	Sport Promotion (スポーツプロモーション論)	<p>スポーツプロモーションの政策と成果に、国際的動向を学び、そこでの課題について考究する。</p> <p>第1回 テーマの選択</p> <p>第2回 スポーツプロモーション政策の現状</p> <p>第3回 スポーツプロモーションの方法論</p> <p>第4回 地域スポーツクラブによるプロモーションの世界的動向</p> <p>第5回 日本の伝統スポーツのグローバル化</p> <p>第6-7回 各ライフステージ別スポーツプロモーションについて学生が選んだテーマのグループディスカッション</p> <p>第8回 テスト</p>	集中 メディア
	Sport Management (スポーツマネジメント論)	<p>スポーツ産業について文献、資料などを用いて世界的市場の動向、経営体の組織、運営などに関する考察を通じて、スポーツ産業のあり方について考究する。</p> <p>第1回 スポーツマネジメントの導入 (8 萩原悟一)</p> <p>第2回 大学スポーツマネジメント (8 萩原悟一)</p> <p>第3回 プロスポーツのマネジメント (8 萩原悟一)</p> <p>第4回 スポーツ参加に関するマネジメント (8 萩原悟一)</p> <p>第5回 スポーツマーケティング：スポンサーシップ (14 隅野美砂輝)</p> <p>第6回 スポーツマーケティング：マーケットリサーチ (14 隅野美砂輝)</p> <p>第7回 マーケティングプロモーション (14 隅野美砂輝)</p> <p>第8回 プレゼンテーション (14 隅野美砂輝)</p>	メディア

	Health Promotion (ヘルスプロモーション論)	<p>寿命の延伸とともに長期にわたって自立した生活を営むことは重要なことと云えます。本コースでは、学生は「活力ある老いと身体活動および運動の役割」について学びます。</p> <p>第1回:高齢者における自立のために必要な体力について 第2回:高齢者における身体運動時の安全性について 第3回:高齢者の運動療法について 第4回:途上国における健康社会的な課題について 第5回:運動(身体活動量)に対する急性および慢性的適応 第6回:健康と疾病に対する身体活動量の効果 第7回:動身体活動に対する理解とプロモーション 第8回:試験2(レポート)</p>	集中メディア
	Research Methods (研究方法論)	<p>スポーツを通じた国際開発と平和構築に関わる研究の基礎となる方法論の理論について、事例を踏まえながら学修する。</p> <p>(オムニバス方式/全10回) (1 清水論/3回) スポーツを通じた国際開発に関する研究の基礎的態度について。 (3 山田理恵/1回) 歴史人文的研究手法について。 (17 金森サヤ子/3回) 疫学的研究手法について。 (1 清水論/1回) 文化人類学的観点からの研究手法について。 (7 北村尚浩/1回) 社会学的観点からの研究手法について。 (9 山口拓/1回) 社会調査法について。</p>	オムニバス方式メディア
演習・学内	IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習)	<p>学生は、論文(特定課題レポート)を書くために、下記5つの課題領域と指導教員を選出し、社会課題を解決するIDSの手法、戦略、評価法等に関する調査・研究を行う。</p> <p>課題領域:スポーツを通じた開発と平和 (Development and Peace thorough Sport)、スポーツを通じた教育・青少年育成 (Education and Youth Development through Sport)、スポーツとジェンダー・人種・民族 (Sport and Gender, Race, Ethnicity)、健康と環境 (Health and Environment)、アダプテッド・高齢者のスポーツ (Aged and Adapted Sport)</p>	メディア
	Research Project (課題研究)	<p>研究テーマを設定し、実践的課題に対して、先行研究を踏まえて、修士論文または課題レポートを作成するにあたって、それぞれの指導教官の下で個別指導を受ける。</p> <p>(1 清水論) スポーツ社会学、身体論、スポーツ文化に関する研究指導を行う。 (2 佐藤貴弘) 比較体育科教育に関する研究指導を行う。 (3 山田理恵) 歴史的、文化人類学的アプローチから、スポーツを通じた地域開発に関する研究指導を行う。 (4 森克己) スポーツと法に関する研究指導を行う。 (5 松元剛) コーチング、フラッグフットボール、戦術的知識、大学スポーツに関する研究指導を行う。 (10 大石純子) 武道論、武道史、武道の海外普及、武道と女性に関する研究指導を行う。 (7 北村尚浩) 体育・スポーツ社会学、青少年に関する研究指導を行う。 (9 山口拓) 開発人類学と青少年スポーツ、カンボジアにおける体育科教育に関する研究指導を行う。 (6 イスラム・モハメド・ムニル) 高齢者の健康づくり及び途上国対先進国の中高齢者の機能的体力の評価に関する研究に関する研究指導を行う。 (8 萩原悟一) スポーツマネジメント、スポーツマーケティングに関する研究指導を行う。</p>	メディア
実践・海外	On the Job Practice (International)	<p>Local- International NGOの実践に触れ、課題発見や課題解決に向けた計画・活動・評価等に関する取り組みを学ぶ。本実習では、特に経験知の獲得を目標に、各組織が取り組む諸課題の特性と課題解決に向けた方略を実体験を通じて学ぶ。現地-/国際NGO、機関等やJICA等のインターン/ボランティア・スタッフとして、4カ月(16週間)程度の活動に従事する中で課題の本質を学ぶ。</p> <p>「現地-/国際NGO、機関等の実際を知ることで、市民社会組織の役割と限界を学び、実際の取り組みから理論と実際の異なりを把握できるようになる。</p>	集中

(注)

- 1 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校に於ける学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

国立大学法人鹿屋体育大学 組織の移行表

2019年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	2020年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
鹿屋体育大学				鹿屋体育大学				
体育学部		3年次編入		体育学部		3年次編入		
スポーツ総合課程	120	20	480	スポーツ総合課程	120	20	480	
武道課程	50		200	武道課程	50		200	
			編入40				編入40	
計	170	20	720	計	170	20	720	
大学院体育学研究科				大学院体育学研究科				
体育学専攻 (M)	15	-	30	体育学専攻 (M)	15	-	30	
体育学専攻 (D)	6	-	18	体育学専攻 (D)	6	-	18	令和2年4月募集停止
スポーツ国際開発学共同専攻 (M) ※1	3	-	6					
	(8)	-	(16)	スポーツ国際開発学共同専攻 (M) ※1	3	-	6	専攻の設置
					(8)	-	(16)	令和2年4月募集停止
大学体育スポーツ高度化共同専攻 (D) ※1	2	-	6					
	(5)	-	(15)	大学体育スポーツ高度化共同専攻 (D) ※1	2	-	6	専攻の設置
					(5)	-	(15)	
計	26	-	60	計	26	-	60	

※1 大学院設置基準第31条第1項に基づく共同教育課程の専攻であって、その定員は本学に係るものである。なお、()内は当該共同教育課程全体の定員である。